

RED DATA BOOK 2012 IBARAKI

茨城における
絶滅のおそれのある
野生生物

植物編

2012年改訂版
(茨城県版レッドデータブック)



茨城県

茨城における 絶滅のおそれのある 野生生物

植物編

**2012年改訂版
(茨城県版レッドデータブック)**

茨城県



はじめに

茨城県は、広大な関東平野の一部をなし、霞ヶ浦・北浦などの湖沼や利根川などに代表される河川、筑波山や八溝山などの緑の山野、190kmにも及ぶ長い海岸線などにより、変化に富んだ良好な自然環境が形成されています。

また、本県は地理的位置から、南方系植物にとっては北限、北方系植物にとっては南限となるものも多く、多種多様な植物が生育する特徴のある植物相が形成されております。

野生生物は、生態系の重要な構成要素であるだけでなく、私たち人間の豊かな生活に欠くことのできないものですが、開発や森林の伐採、里地里山の手入れ不足や乱獲、さらには地球温暖化などにより、絶滅が心配される種も多く見られるようになってきました。

このような中、本県では、平成9年3月に茨城県版レッドデータブックである「茨城における絶滅のおそれのある野生生物<植物編>」を作成するとともに、平成16年3月には「茨城県希少野生動植物保護指針」を策定し、野生生物の保護や生育環境の保全に努めてきました。また、国におきましても、平成20年に生物多様性基本法が施行され、生物多様性国家戦略の見直しが行われるなど、近年、生物多様性の保全と持続可能な利用の重要性はますます高まっています。

このため、本県では、県内の野生植物の現状を的確に把握し、一層の保護対策を進めていくため、「茨城の絶滅のおそれのある野生植物種見直し検討委員会」において評価・検討を行い、この度、新たなレッドデータブックとしてとりまとめました。

人と自然との共生を図りながら、豊かな生物多様性の恵みを享受し、次の世代に引き継いでいくことは、私たちの果たすべき重要な責務であります。

多くの県民の皆さんに本書をご覧いただき、県内の希少野生植物の現状やその保全の大切さについて理解を深めていただくとともに、生物多様性保全に向けた基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

平成25年3月

茨城県知事 橋 本 昌

目 次

はじめに

レッドデータブック植物編の改訂について 1

茨城の絶滅危惧植物の概要 5

絶滅危惧種の選定 11

　　カテゴリーの定義 11

　　選定理由一覧 12

　　前回のレッドデータブック（1997）との比較 13

選定種一覧 15

選定種の解説 35

文献一覧 255

和名索引 258

レッドデータブック植物編の改訂について

希少野生動植物の保護

地球上には、多種多様な野生動植物が生息・生育している。これらの野生動植物は、生態系の重要な構成要素であるだけでなく、人類の豊かな生活に欠くことのできないものである。

しかしながら、人間活動による生育地の破壊や減少、さらには乱獲や外来生物による生態系の搅乱等により、多くの野生動植物が絶滅の危機に瀕している。

急激な動植物種の減少は生態系のバランスに変化をもたらし、私たちの生活基盤にも影響を及ぼすことが懸念される。多種多様な動植物種を保存し、人と野生動植物との共存を図っていくためには、野生動植物の生息・生育環境の保全や乱獲の防止、絶滅のおそれのある種の保護・管理など、生物多様性の保全に向けた様々な取組みが必要である。

野生動植物を人為的に絶滅させないためには、絶滅のおそれのある種を的確に把握し、一般への理解を広める必要がある。このため、国や各地方自治体においては、「レッドリスト」や「レッドデータブック」が作成されている。

また、平成5年4月には「絶滅のおそれのある野生動植物種の保存に関する法律」（「種の保存法」）が施行され、希少野生動植物種指定による捕獲・譲渡の禁止や保護増殖事業の実施等、各種の措置を講じていく仕組みが整備された。現在は、この法律をはじめ、レッドデータブック等の活用により、希少野生動植物の保護が図られているところである。

このような中、平成20年6月には、生物多様性の保全と持続可能な利用を総合的・計画的に推進することで、豊かな生物多様性を保全し、その恵みを将来にわたり享受できる自然と共生する社会を実現することを目的として、「生物多様性基本法」が施行され、わが国の生物多様性施策を進めるうえでの基本的な考え方が示された。

また、平成22年10月に開催された「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」で採択された「愛知目標」や平成24年9月に閣議決定した「生物多様性国家戦略2012-2020」においても、絶滅危惧種の絶滅・減少の防止のための生息・生育環境の整備の推進が目標の一つとして位置付けられるなど、希少野生動植物の保護の重要性が高まっている。

茨城県版レッドデータブック植物編改訂の必要性

茨城県には、タチスミレ、オオウメガサソウ、ミヤマスカシユリなどをはじめ、希少な野生植物が生育している。これらの保護を図るためにには、野生植物の現状を的確に把握し、適切な施策を講じることが必要であることから、本県では、「茨城における絶滅のおそれのある野生生物＜植物編＞」を平成9年3月に作成し、希少野生植物保護対策の基礎資料として活用を図ってきたところである。

また、平成16年3月には、「茨城県希少野生動植物保護指針」を策定し、県内に生息・生育する希少野生動植物の保護のあり方について基本的な考え方を整理するとともに、開発事業を行いう際の手続きや今後実施すべき保護施策について取りまとめを行った。

野生植物の生育状況は常に変化しており、レッドデータブックにおける評価は、一定期間の後には見直すことが必要である。県内でも、各地の植物調査が進み、生育地の環境の変化や新たな生育地が見つかるなどの多くの情報集積がなされてきたことから、平成22年3月に専門

家からなる「茨城における絶滅のおそれのある野生植物種の見直し検討委員会」（委員長：中崎保洋 茨城生物の会理事）を設置し、県内の野生植物の現状について詳細な検討を行い、平成24年2月に新たなレッドリストとして取りまとめた。

今回作成したレッドデータブックは、平成24年に改訂したレッドリストについて、個々の種についての生育状況や減少の理由について解説を加えたものである。さらに、国の第4次レッドリストの評価や最新の知見により、一部見直しを行い、追加変更したものである。

県内における絶滅のおそれのある野生植物の現状と保護の大切さについて考えるきっかけとするほか、各種開発や計画等において希少植物保護への配慮を促すなど、絶滅のおそれのある種の保存をはじめとする生物多様性の確保に関する施策を推進していくための基礎資料として活用を図っていくこととしている。

レッドリスト・レッドデータブックについて

レッドリストとは、絶滅のおそれのある野生動植物種を選定し、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を評価してリスト化したものである。

また、このレッドリストに掲載された種について、絶滅のおそれのある原因や生育状況等について詳しく解説し取りまとめたものがレッドデータブックである。

昭和41年に国際自然保護連合(IUCN)が世界の絶滅のおそれのある野生生物をレッドリストとして初めて公表したのが始まりで、この第1版の表紙が赤い色をしてしたことから、レッドデータブックやレッドリストと呼ばれるようになった。

国内では、平成元年の（財）日本自然保護協会と（財）世界自然保護基金日本委員会による「我が国における保護上重要な植物種の現状」の発刊を契機にレッドデータブックの整備が進み、環境省では、平成3年以降、主要な生物群についてレッドデータブックの整備を行っている。新たな情報や知見を反映するための改訂も行われており、平成24年には新たな第4次レッドリストが取りまとめられ公表された。

また、地方自治体においても、それぞれの地域性を配慮しながら、独自のレッドリストやレッドデータブックが整備されている。

検討委員会及び写真提供者

茨城県版レッドデータブック植物編の改訂にあたっては、前記の「茨城における絶滅のおそれのある野生植物種の見直し検討委員会」を移行した「茨城県版レッドデータブック植物編検討委員会」を設置し、内容について詳細な検討を行うとともに、多くの関係者からのご協力をいただき、取りまとめを行った。

○茨城県版レッドデータブック植物編検討委員会（敬称略）

委員長 中崎 保洋 茨城生物の会理事
安嶋 隆 茨城県立日立第二高等学校教諭
内山 治男 大成女子高等学校教頭
小幡 和男 ミュージアムパーク茨城県自然博物館副参事兼企画課長
小菅 次男 茨城生物の会会長
福田 良市 茨城県霞ヶ浦環境科学センター嘱託員
藤田 弘道 茨城生物の会理事
安 昌美 茨城生物の会理事

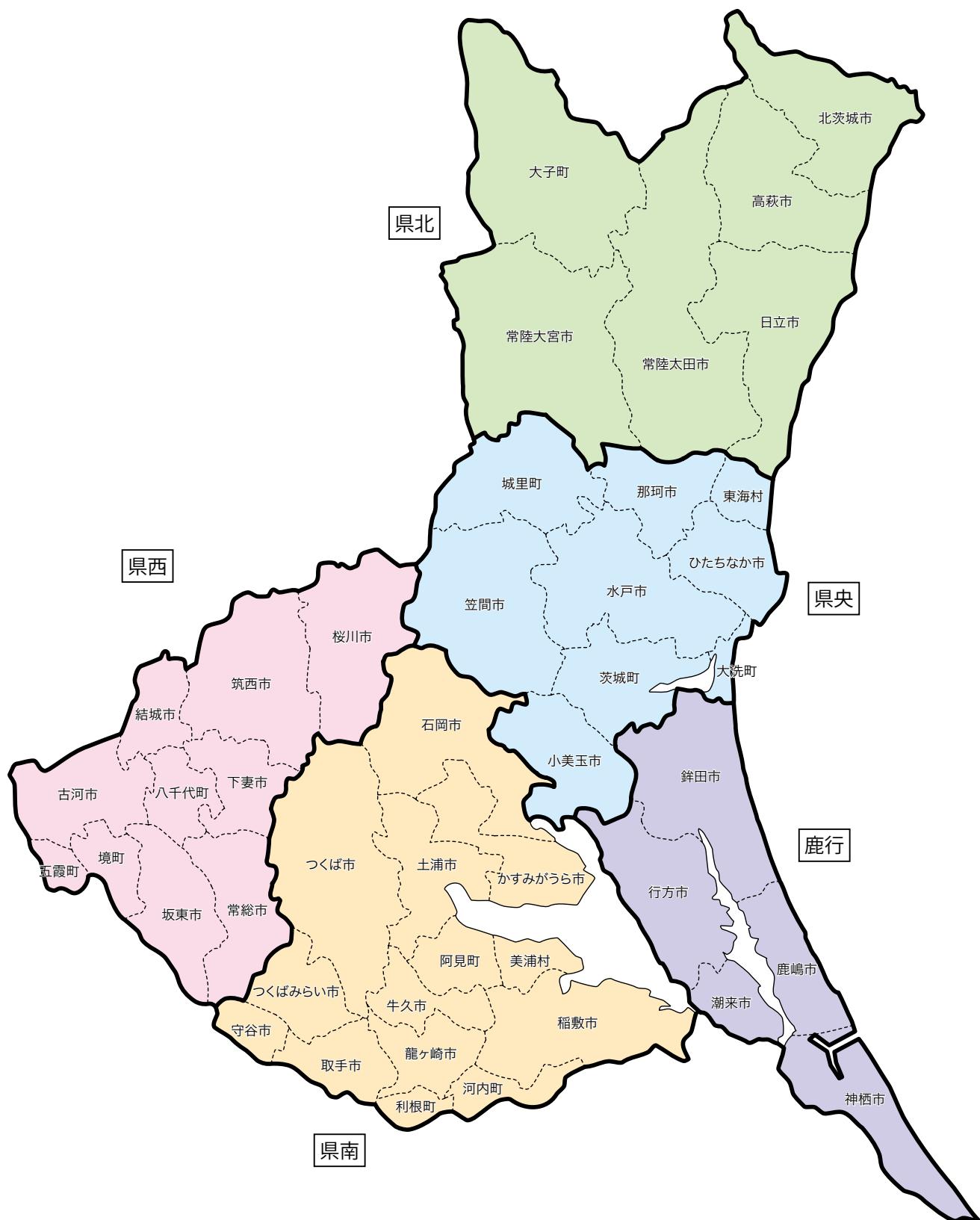
○協力者（敬称略）

海老原 淳 国立科学博物館植物研究部研究員
岡 利雄 日本シダの会会員
成島 明 前ミュージアムパーク茨城県自然博物館学芸嘱託員
野口 達也 日本スゲの会副会長

○写真提供者（敬称略） （ ）内は撮影者略記名

安嶋 隆（安嶋） 内山 治男（内山） 大内 董（大内）
大津 昭治（大津） 小幡 和男（小幡） 小池 修（小池）
小松崎 茂（小松崎） 清水 修（清水） 高田 和男（高田）
中崎 保洋（中崎） 中庭 正人（中庭） 成島 明（成島）
福田 良市（福田） 藤田 弘道（藤田） 丸山 友一（丸山）
宮本 卓也（宮本） 村上 廣美（村上） 森本 泰弘（森本）
安 昌美（安）

茨城県の地域区分図



茨城の絶滅危惧植物の概要

茨城県には延長 190km におよぶ海岸線、関東平野の北東部を占める平野部、北部には阿武隈山地の南部にあたる多賀山地、県内では最高峰の八溝山（標高 1022m）を含む八溝山地（八溝山塊、鷺子山塊、鶴足山塊、筑波山塊に区分）、袋田の滝や渓谷を持ち急峻な崖などのある久慈山地がある。湖沼では県の約 3 分の 1 の面積を流域とする霞ヶ浦、汽水湖である涸沼、さらに牛久沼、菅生沼などが主なものである。河川の主なものは多賀山地の大北川、多賀山地と久慈山地の間を流れる里川、久慈山地と八溝山地の境をなす久慈川、栃木県から茨城県に入り県都水戸市を流れる那珂川、平地部には小貝川・鬼怒川が緩やかに流れ、県境をなす大河、利根川が県西部から南部に流れる。

気候的には平地から山麓部は温暖で、北部の山地は少し寒冷である。

日本列島の潜在植生の区分では、茨城県域は大部分が照葉樹林帯で、北部の山地や筑波山などの上部などが夏緑樹林帯に含まれることが一般的である。このような地形や気候のもとに約 2350 種類の維管束植物の生育が確認されている。これらの植物の生育地は現在の地形や気候の影響を強く受けているものから、どちらかというと、過去の水陸の分布や、今より温暖または寒冷な気候の影響が強いと思われるものまである。

しかし、これまで確認してきた約 2350 種類のなかには、人間の活動により、その生育が強く影響を受け、生存そのものが危険になり、絶滅が危惧されている植物も多い。絶滅する原因の主なものとしては、開発などで生育地が破壊されて無くなること、管理放棄などにより自然遷移が進んで、その植物にとって生育環境が変化し、生育に適さなくなること、さらに人間が選択的に特定の種類を園芸用などに採取することなどがあげられる。

本県では絶滅危惧植物として 576 種が、さらに情報不足の種として 94 種を掲載した。

次にこれらの絶滅危惧植物の主なものについてその生育地を中心に記す。



筑波山塊（笠間市）



海岸（東海村）

〈海岸の植物〉

茨城県沖の海には北から親潮が、南から黒潮が流れ、植物の生育に大きな影響を与えていている。海岸線の地形は比較的単調である。久慈川河口以北に海蝕崖が見られ、一部に砂浜が広がる程度である。南部の海岸は砂浜が広がり、那珂川河口近くに崖が見られる程度である。埋め立てや開発利用で大きく変化した海岸もある。

北部の海岸の岩礁域の海中には本州の太平洋岸では茨城県以南に知られるエビアマモが生えている。

砂浜には南方系のネコノシタ、ビロードテンツキと北方系のハマナスやシロヨモギの生育地がまれにある。ハナハタザオの生育地は限られている。カワラサイコ、スナビキソウ、ナミキソウ、ハマハタザオ、ハマボウフウ、ハマウツボの見られる海岸も少なくなっている。ハマビシは絶滅した。

海岸の崖地やその周辺には北方系のハマギク、コハマギクやマルバトウキが那珂川河口近くまで見られ、南方系のイヨカズラは少なくなり、日立市のハマホラシノブの生育地は消滅した。センダイハギは絶滅、ヒトモトスキの生育地も限られている。海浜植物ではないが、草地に見られたノジトラノオ、アズマギクの絶滅した場所もある。

海岸のクロマツやアカマツ林下にはまれにハマカキランやフジナデシコが点在している。海浜植物ではないが、ひたちなか市のアカマツ林下にはオオウメガサソウが群生し、まれにヒツボクロ、ヤナギタンポポも見られる。また、このアカマツ林の林縁に生育するイヌハギは注

目に値する。那珂川河口近くの崖の岩上にはイワレンゲが着生している。マツバランは神栖市と北茨城市的海岸近くで記録されているが、北茨城市的生育地は津波の後、確認できない。日立市のイブキ樹叢のイブキは、個体数が少ないので、今後が心配である。

海水の混じる河口部などの湿地に生えるウラギク、シオクグやオオクグもまれで、シバナは絶滅した。



海岸（北茨城市）

〈湖沼・河川・水田の植物〉

湖沼等の水環境は大きく変化し、特に沼、池の消失、水質の悪化、水田の耕作法の変化などで、水生植物、特に沈水植物の個体数の減少は極端で、貴重な種が絶滅した。霞ヶ浦ではムジナモ、ヒンジモ、ガシャモクが絶滅した。湖沼や流水等に生えるリュウノヒゲモ、トリゲモ、コウガイモ、ササバモ、ヤナギモ、クロモなどは少くなり、水田等に生えるミズオオバコ、ヤナギスブタも減少し、特にトリゲモ類では絶滅危惧種が多い。浮葉植物では霞ヶ浦、北浦などのアサザの群生地は少くなり、ガガブタも周辺の水路などに僅かで、トチカガミも生育地は限られているが、水路に群生していることが多い。オニバスやヒメビシのある湖沼はほとんどなく、ヒツジグサやジュンサイの見られる湖沼も少ない。池沼でもコバノヒルムシロやフトヒルムシロは少なく、コウホネは湖沼の沿岸部や小さな流れの中に残されている程度である。デンジソウの見られる水田は極めてまれである。

浮遊植物のサンショウモやオオアカウキクサは乾田化や湿田の耕作放棄などにより減少了した。抽水植物ではミクリ類が減少し、タタラカンガレイ、シズイ、サジオモダカもまれである。ミズアオイは霞ヶ浦など南部の湖沼や周辺の水田地帯に生育し、時に小さな群生が見られる。

〈湿地の植物〉



湿地（稻敷市）

湿地も人間の活動により大きな影響を受けている場所である。県中央部以北の湿地は小さく、サクラバハンノキの生育している湿地は1か所で、イソノキ、ハシバミは中央部の湿地にややまれに出現する。かつてミコシギクの見られた湿地でも最近は確認されていない。湿地でも草丈の低い所にはヒナザサ、ヒメナエ、ミズユキノシタ、ヒメハッカ、ヒナノカンザシ、マルバノサワトウガラシ、ゴマクサなどの他に食虫植物のモウセンゴケ、ミニ

カキグサ、ホザキノミミカキグサ、ムラサキミミカキグサが見られる。周辺部の少し草丈の高い場所にはカモノハシ、ミズオトギリ、ヤマラッキヨウ、スマゼリ、イヌセンブリ、ヒメコヌカグサ、オオイヌノハナヒゲなどがまれに見られる。カキツバタの生える池は少ない。サギソウの激減したのは相当以前のことである。もともと生育地が限られていたクロツバラやアズマツメクサは最近確認されず、トキソウや、やや湿った場所に生えるシランは極まれで、カキランも少なくなった。かつて湿った崖地にコモウセンゴケが群生し、一面が赤くなっていた所も今は確認できない。稲刈り後の水田にミズマツバなどが見られることがある。河川敷にコゴメヤナギの見られる所は少ない。

県南・県西の湿地は湖沼の周囲や河川敷にもあり、多くの湿性植物が確認されている。

霞ヶ浦と北浦周辺の水辺にはハタザオ、ニガカシュウ、セイタカヨシ、ハナムグラ、ミクリ、ジョウロウスゲ、カンエンガヤツリ、ホソバイヌタデ、タコノアシ、ミヅコウジュ、ミズネコノオ、ヤナギトラノオ、ミズアオイ、オオマルバノホロシなどが見られる。特に稻敷市浮島にある湿地には貴重な種類が生育している。主なものとしては霞ヶ浦の沿岸域で発見され、現在も他に生育地のないカドハリイは国レベルでも絶滅危惧IA類に指定されている。他にノウルシ、ナガボノシロワレモコウ、エキサイゼリ、スマアゼスゲ、アサマスゲ、スマクロボスゲ、マシカクイ、オオイヌノハナヒゲ、ヒメシオン、ミズチドリがあり、カモノハシは広い範囲に群生し、オオクグの記録もある。霞ヶ浦周辺ではイトハコベが絶滅している。

小貝川の河川敷や菅生沼、利根川の河川敷などを中心とする湿地にはアゼオトギリ、コイヌガラシ、クロツバラ、タチスミレ、シムラニンジン、ヒメアマナ、マイヅルテンナンショウ、カガシラ、トネハナヤスリ、アズマツメクサ、ナガボノアカワレモコウ、エキサイゼリ、チョウジソウ、キタミソウ、ホソバオグルマ、トネテンツキ、ヒキノカサ、ノカラマツ、ハナムグラ、ゴマノハグサ、ホソバイヌタデ、ヌカボタデ、ノウルシ、ゴマギ、フジバカマ、アワボスゲ、ヤガミスゲなど貴重な植物が林下や草地に残されている。池沼



湿地（小美玉市）

の周辺の裸地や水田にも見られるホシクサ科植物には絶滅危惧種が多く、ヒロハノイヌノヒゲ、クロイヌノヒゲ、ホシクサ、イトイヌノヒゲ、ヤマトホシクサ、クロホシクサ、シロイヌノヒゲ、ニッポンイヌノヒゲなどがある。下妻市の砂沼には野生では絶滅し、最近再生が試みられているコシガヤホシクサがある。

〈平地の植物〉

平地部にはかつて薪炭林とされ、農業用の落ち葉などの採取が行われた落葉樹林があるが、最近は管理が放棄され、キンラン、ギンラン、オミナエシ、ハバヤマボクチ、クチナシグサなどが個体数を減少させている。照葉樹林やスギやヒノキのよく成長した林や林下にはホソバカナワラビ、アマクサシダ、ヒカゲワラビ、ヘラシダ、メヤブソテツ、アリドオシ、イズセンリョウ、オキナワジュズスゲ、ムサシアブミ、ホトトギス、エビネ、キジョランなどを見ることができる。鹿嶋市のモミ林下で古くヒメフタバランが記録されている。同地のクモランも最近は確認されていない。

人家近くではトキホコリが庭のすみに、イヌノフグリが古い石垣の隙間に、霞ヶ浦の堤防にはヒナギキョウが点在し、古くからの集落の道路沿いにまれにクマツヅラが生育している。山麓近くの道路の斜面にマルバダケブキが群生する場所は限られている。水田近くの斜面にカザグルマやバアソブが生える地域は少ない。台地斜面の崖地にキクタニギクを見るのも少なくなったが、まだ山地部では見ることができる。水の湧くような台地斜面にはまれにルリソウが見られる。



河畔林（下妻市）



河畔林（下妻市）

〈丘陵地・山麓の植物〉

本県の丘陵地や山麓部は温暖で、本県を太平洋側の北限地とする植物はこの地域に多い。照葉樹林が狭いながらも山麓部などに残っており、ここにはリンボク、ツクバネガシ、カゴノキ、クロガネモチなど常緑広葉樹で高木になる種が生育し、林下にコジキイチゴ、ミヤマトベラ、ヒカゲツツジ、アリドオシ、オオアリドオシ、フユザンショウ、イズセンリョウ、キジョランなどがまれに見られる。草本類ではオニイノデ、スリトラノオ、ナガバノイタチシダ、ノコギリシダ、オニヒカゲワラビ、オオバノハチジョウシダ、サイゴクベニシダ、クリハラン、コバ

ノイシカグマ、オオバチドメ、ツルギキヨウ、ヒイラギソウ、ヤマホオズキ、ハイチゴザサ、フウラン、カヤラン、ウスギムヨウランなどのムヨウラン類も生育している。しかし、クマガイソウ、ヒタチクマガイソウなどは現在はほとんど見られない。多賀山地の石灰岩地にはまれにイワツクバネウツギの生育が見られる。

山麓部の沢にはサワルリソウ、オオハシカグサ、タカクマヒキオコシの群生、ムカゴネコノメが見られ、まれにイヌアワなども生育している。

草地の面積は狭く、遷移も進みやすいので、生育している植物には常に注意する必要がある。オキナグサ、マツムシソウは絶滅に近く、マツバニンジン、ヒナノキンチャク、ムラサキ、タカサゴソウ、ヒメヒゴタイ、ミヤコアザミ、カイジンドウ、ヒオウギも心配である。オミナエシ、キキヨウ、タチフウロ、ヒゲシバ、ヤマジソ、コガンピ、キクアザミ、ホタルサイコも個体数を減らしている。



照葉樹林（鹿嶋市）

〈山地の植物〉

茨城県で山地部を代表する林はブナ林であるが、現存するブナ林の面積は狭く、北部の花園・小川地区から豊割山、男体山、八溝山、花瓶山、仏頂山、吾国山、加波山、筑波山などの山頂部に林が見られる。佐白山、御前山、西金砂山などのブナの生育地の標高は低く注目される。山地部はスギなどの植林地が目立ち、夏緑樹林は少なくなり、各地に保護林として残されている夏緑樹林は貴重である。



夏緑樹林（八溝山）

夏緑樹林の樹木ではオオイタヤメイゲツ、シナノキ、シロヤシオ、サラサドウダンなどの個体数は少ない。ダケカンバは八溝山に、ウダイカンバは高萩市などに生育している。ミヤマザクラは筑波山にのみ知られている。急峻な場所や尾根筋にヒメコマツやツガが残っている所がある。シラカンバは多賀山地に林が見られるが、時に平地部に単木が見つかることがある。エドヒガン、オノオレカンバは八溝山地に、ヤマグルマは久慈山地にまれである。沢沿いにチョウジザクラが見られるのも久慈山地である。



男体山（大子町）

林下に生育する低木などではクロカンバ、アズマシャクナゲ、ナンキンナナカマド、ツクバグミ、キバナウツギの個体数は少ない。またスギラン、ヤシャビシャクなど大きなブナに着生する植物は極めてまれである。ハヤザキヒヨウタンボクやアイズシモツケは奥久慈に、コウゲイスカグラは久慈山地や筑波山塊にまれである。

夏緑樹林下の草本植物の種類は比較的多いが、そのなかでも、シラネワラビ、ヤマシャクヤク、レンゲショウマ、ハナビゼリ、オオカニコウモリ、タマガワホトギス、マ

イヅルソウ、ヒメマイヅルソウ、コケイラン、コアツモリソウ、アオフタバランなどは貴重で、各種とも個体数は少ない。ブナなどの樹幹に着生するミヤマノキシノブ、ホテイシダも少なくなった。多賀山地にはアスピカズラ、クルマバハグマ、イワキハグマ、ミヤマツチトリモチ、ヨツバヒヨドリ、コフタバランがあり、久慈山地とその近くにはエビラシダ、ギョウジャニンニク、マルミノヤマゴボウ、マルミノウルシ、ハクサンハタザオが生育し、八溝山にはカリヤスモドキ、雨巻山にヒメシャガ、筑波山ではナンタイシダ、ヒナワチガイソウが知られる。

山地部の沢沿いにはイワネコノメソウ、ハシリドコロ、ヒトツバテンナンショウ、イワセントウソウ、オオモミジガサ、シロバナエンレイソウなどが見られるが、生育地は限られている。ナンブワチガイソウ、コミヤマカタバミ、ギボウシランが見られるのは多賀山地、八溝山塊にはヤワタソウ、筑波山塊にはヤマトグサ、サワダツが見られる。

山地部の草原は少なく、さらに管理放棄や遷移が進んで面積は狭くなっている。タチコゴメグサ、アツモリソウ、ノビネチドリは絶滅とされ、コウリンカ、サクラスマレ、ヒメスゲが少なくなり、ゼンティカは少ないが県北の海岸部にも見られる。

山地部の湿地ではリュウキンカは絶滅とされ、コキンバイの生育地は限られ、ミツガシワも現在は1か所しか生育が知られていない。他にシキンカラマツ、エゾツリスゲ、ニッコウシダ、ハンゴンソウ、オオニガナ、ノハナショウブ、サワシロギク、コオニユリなどが見られる。周辺部からの樹木の進入もあり、小さな湿地の植物は生育が危ぶまれることになる。クリンソウの湿地も心配である。

山地部の渓谷岩上には山麓部からのつながりもありキヨスミコケシノブ、カタヒバ、サジラン、ヒメサジラン、オオクボシダ、オクタマシダ、シシラン、ハイホラゴケ、アオホラゴケなどがまれに見られる。

山地部の岩上には限られた植物が見られイワヒバ、イワオモダカ、コガネシダ、コメツツジ、キンレイカ、ミヤマママコナ、ツクバスゲ、マメヅタラン、ウチョウラン、ヒナランなどがある。特に久慈山地の大きな岩崖には県内の他の地域では見られない植物も多い。そこにはフクロダガヤ、アオノイワレンゲ、オオチチッパベンケイ、キバナカワラマツバ、ヤハズハハコ、ミヤマスカシユリ、イブキジャコウソウ、エゾノヒメクラマゴケなどがある。

(写真：安)

絶滅危惧種の選定

対象種を選定するにあたっては、環境省のレッドリスト（2007, 2012）および本県のレッドデータブック（1997）において選定されている種、県の特定動植物分布調査により選定調査された種、その他必要と思われた種について評価検討を行い、選定した。なお、ここで対象とする「種」は、原則として種または亜種とし、変種、品種、交雑種および外来種は対象外とした。

カテゴリーの定義

カテゴリーの定義については前回と同様、国レベルと同じカテゴリーを用いた。ただし、カテゴリーの区分にあたっては、国のような定量的データを用いるには十分なデータがなく、県内の実情について、各委員の経験や知見に基づき、判断した。

茨城県レッドリスト（植物編）のカテゴリー定義およびその基本概念

絶滅	本県ではすでに絶滅したと考えられる種。 (栽培下でのみ生育している野生絶滅を含む。)
絶滅危惧 I 類	絶滅の危機に瀕している種。現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。
絶滅危惧 I A 類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
絶滅危惧 I B 類	絶滅危惧 I A 類程ではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
絶滅危惧 II 類	絶滅の危険が増大している種。現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I B 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。
準絶滅危惧	存続基盤が脆弱な種。現時点での絶滅危険度は小さいが、生育条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。
情報不足	評価するだけの情報が不足している種。
①注目種	最近県内での生育が確認された種であるが、県内の分布域がまだ十分に調査されていない種。
②現状不明種	最近の情報がなく、生育状態が不明の種。

選定理由一覧

No.	理由略記	選 定 理 由
1	森林の伐採	森林の伐採や道路(林道含む)の開発、改修、拡幅などにより、生育適地が減少している。
2	遷移の進行	土地の管理放棄により遷移が進み、生育適地が減少している。
3	生育地点が少ない	生育地点が極めて少なく、容易に絶滅する危険性がある。
4	湿地の開発	湿地の埋立や開発に伴う乾燥化などにより、生育適地が減少している。
5	草地の開発	草地の開発により、生育適地が減少している。
6	河川の改修	河川改修や河川敷堤防の開発により、生育適地が減少している。
7	個体数が少ない	個体数が極めて少なく、容易に絶滅する危険性がある。
8	園芸採取	園芸用に人気が高く、山野草栽培者などによる採取により、個体数が減少している。
9	湖岸の埋立	湖岸の埋立などの開発により、生育適地が減少している。
10	海岸の開発	海岸の砂防工事などの開発により、生育適地が減少している。
11	溜池の埋立	溜池の埋立や護岸の改変などにより、生育適地が減少している。
12	水質の汚濁	水質の変化、汚濁による生育環境が悪化により、個体数が減少している。
13	農地の改修	農地の改修に伴う環境変化により、個体数が減少している。
14	農薬の使用	農薬の使用による生育環境の悪化により、個体数が減少している。
15	外来種との競合	外来種と生育地が競合することにより、個体数が減少している。
16	登山者による踏みつけ	登山者や野外活動による踏みつけにより、個体数が減少している。

前回のレッドデータブック（1997）との比較

今回は、前回を大きく上回る 576 種が絶滅のおそれがあるとされた。また前回から 24 種がレッドリストから削除された。これは県内各地での開発が進んだこと、および前回のレッドリストが公開されて、それをもとに、さらに調査が進んだことにより、生育状況や分布域が明らかになってきたことなどによるものと思われる。さらに 94 種を情報不足として指摘し、今後の調査課題とした。

表－5 前回（1997）との比較表

2012 該当種 (576 種)	カテゴリー	1997 該当種（391 種）					
		絶滅種	絶滅危惧種	危急種	希少種	追加種	総 計
	絶滅	15	7	1	2	6	31
	絶滅危惧 I A 類	2	38	22	7	11	80
	絶滅危惧 I B 類		22	56	24	52	154
	絶滅危惧 II 類	1	8	37	44	78	168
	準絶滅危惧		1	15	37	90	143
	総 計	18	76	131	114	237	576
	情報不足①注目種				1	28	29
	情報不足②現状不明種	3	9	11	4	38	65
	茨城レッドリスト1997 からの削除種	2	3	10	9		24

1997年レッドリストから削除された種

多くの生育地が確認された種

ミズワラビ（希少種）、キヨスミヒメワラビ（希少種）、ヒメスマリ（危急種）、
カクレミノ（危急種）、イヌショウマ（希少種）、センダイトウヒレン（希少種）、
ササクサ（希少種）、コクラン（危急種）

外来種とされた種

クソニンジン（希少種）、キンガヤツリ（絶滅危惧種）

生育地が県外（福島県）とされた種

ハリモミ（危急種）

同定の変更があった種

サカネラン（希少種）→タンザワサカネラン
ムサシタイゲキ（絶滅種）センダイタイゲキと区別しない
ウスイロスゲ（危急種）別種と同定
オニガヤツリ（危急種）別種と同定

対象外とされた種

交雑種

ヤマドリトラノオ（危急種）、フジオシダ（希少種）、ヤミゾスミレ（危急種）、
ササエビモ（危急種）、イサリモ（絶滅危惧種）、サンネンモ（希少種）

品種

マルバイノコズチ（絶滅種）、ケナシベニバナヤマシャクヤク（絶滅危惧種）、
ケヤマシャクヤク（危急種）

選 定 種 一 覧

- ・各種類についてはカテゴリー別に記載した。
- ・科名および科の配列は原則として植物目録 1987（環境庁自然保護局編）に従った。
- ・和名の配列は米倉浩司・梶田忠（2003-）「BG Plants 和名－学名インデックス（YList）」、http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.htmlによる学名のアルファベット順とした。
- ・選定理由は選定理由一覧の番号で示した。
- ・環境省、茨城県および近隣県のカテゴリーはそれぞれのレッドリストに従った。

分類群およびカテゴリー別集計表

○今回選定した絶滅のおぞれのある野生植物の種類数は下表の通りである。

分類群 カテゴリー	シダ植物	種子植物				総計	
		裸子植物	双子葉類				
			離弁花類	合弁花類	単子葉類		
絶滅	3		8	7	13	31	
絶滅危惧 IA類	12		31	18	19	80	
絶滅危惧 IB類	22	1	39	37	55	154	
絶滅危惧 II類	21	2	59	46	40	168	
準絶滅危惧	18	1	41	37	46	143	
絶滅危惧 計	76	4	178	145	173	576	
情報不足①注目種	10		5	5	9	29	
情報不足②現状不明種	6	1	11	12	35	65	
情報不足 計	16	1	16	17	44	94	
1997からの削除種	4	1	8	2	9	24	

絶滅 31種

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
ヤチスギラン	ヒカゲノカズラ						絶滅	
ハマホラシノブ	ホングウシダ		絶滅種					要保護
オニイノデ	オシダ	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種					消息不明・絶滅
ホザキヤドリギ	ヤドリギ							
イトハコベ	ナデシコ	絶滅危惧 II類 (VU)			絶滅危惧 I類	絶滅危惧 IA類	最重要保護	
リュウキンカ	キンポウゲ		危急種		絶滅危惧 II類			
ムジナモ	モウセンゴケ	絶滅危惧 IA類 (CR)	絶滅種			野生絶滅	消息不明・絶滅	
マルバシモツケ	バラ		絶滅危惧種					
センダイハギ	マメ		絶滅種					
ハマビシ	ハマビシ	絶滅危惧 IB類 (EN)	絶滅種					重要保護
ツクバトウキ	セリ		絶滅危惧種					
ハイハマボッス	サクラソウ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅種					要保護
オオアオカモメヅル (ツクバカモメヅル)	ガガイモ							
ヤブムグラ	アカネ	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅種					重要保護
タチコゴメグサ	ゴマノハグサ		希少種			絶滅危惧 IB類		
ヒメトラノオ	ゴマノハグサ				絶滅危惧 I類	絶滅危惧 IA類	最重要保護	
ツクバウグイスカグラ	スイカズラ		絶滅種					
ホロマンノコギリソウ (キタノコギリソウ)	キク	絶滅危惧 II類 (VU)						
マルバオモダカ	オモダカ	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅種	絶滅危惧 II類	絶滅	絶滅	消息不明・絶滅	
シバナ	ホロムイソウ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅種					最重要保護
エゾヤナギモ	ヒルムシロ		希少種					
ガシャモク	ヒルムシロ	絶滅危惧 IA類 (CR)	絶滅種					重要保護
コシガヤホシクサ	ホシクサ	野生絶滅 (EW)	絶滅危惧種			絶滅		
ヒンジモ	ウキクサ	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I類	絶滅	消息不明・絶滅	
トダスゲ	カヤツリグサ	絶滅危惧 IA類 (CR)	絶滅種		絶滅	絶滅危惧 IA類	最重要保護	
ヒエスゲ	カヤツリグサ		絶滅危惧種	未評価		絶滅危惧 IB類		
エゾサワスゲ	カヤツリグサ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅種					
カガシラ	カヤツリグサ	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅種		絶滅危惧 I類		重要保護	
アツモリソウ	ラン	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I類	野生絶滅		
ノビネチドリ	ラン		絶滅危惧種		絶滅危惧 II類			
ヒメタバラン	ラン		絶滅種	絶滅危惧 II類		情報不足	最重要保護	

絶滅危惧 I A類 80種

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
マツバラン	マツバラン	1 3 7	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	要注目	絶滅危惧 I A類	最重要保護
スギラン	ヒカゲノカズラ	1 3 7	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	未評価	要注目	絶滅危惧 I B類	
アスピカズラ	ヒカゲノカズラ	1 3		絶滅危惧種			絶滅危惧 I B類	
キヨスミコケシノブ	コケシノブ	1 3		希少種			絶滅危惧 I B類	最重要保護
ヌリトラノオ	チャセンシダ	1 3		危急種				最重要保護
オクタマシダ	チャセンシダ	1 3	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	希少		絶滅危惧 I B類	
ヒメサジラン	ウラボシ	1 3 7			希少		絶滅危惧 I B類	
イワオモダカ	ウラボシ	1 3 8		危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I B類	最重要保護
ヒトツバ	ウラボシ	1 3		危急種		準絶滅危惧		
オオクボシダ	ヒメウラボシ	1 3 7		危急種	絶滅危惧 II類		絶滅危惧 I A類	
デンジソウ	デンジソウ	2 13 14	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	絶滅	絶滅危惧 I A類	重要保護
オオアカウキクサ	アカウキクサ	13 14 15	絶滅危惧 I B類 (EN)		絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	絶滅	要保護
オキナグサ	キンポウゲ	2 5 8	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	準絶滅危惧	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I A類	最重要保護
バイカモ	キンポウゲ	6 12		絶滅危惧種	準絶滅危惧		絶滅危惧 I B類	消息不明・絶滅
ヒメバイカモ	キンポウゲ	3 11 12	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I類			消息不明・絶滅
オニバス	スイレン	3 9	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種		絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I A類	最重要保護
アゼオトギリ	オトギリソウ	3 6	絶滅危惧 I B類 (EN)	危急種		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I A類	最重要保護
ナガバノイシモチソウ	モウセンゴケ	2 3 4	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種				
イシモチソウ	モウセンゴケ	2 3 4 7	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種				最重要保護
ハナハタザオ	アブラナ	3 10	絶滅危惧 I A類 (CR)	絶滅危惧種		絶滅	絶滅	消息不明・絶滅
アオノイワレンゲ	ベンケイソウ	3 7 8		危急種				
イワレンゲ	ベンケイソウ	3 7 8	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種				消息不明・絶滅
ギンバイソウ	ユキノシタ	1 3 7		危急種		準絶滅危惧		
ヤワタソウ	ユキノシタ	1 3 7		危急種			絶滅危惧 I B類	
ヤシャビシャク	ユキノシタ	1 3 7	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	絶滅危惧 I B類	
ホシザキユキノシタ	ユキノシタ	3		危急種				
イワシモツケ	バラ	1 3 7			絶滅危惧 I類		絶滅危惧 I B類	
コキンバイ	バラ	1 3		危急種			絶滅危惧 I B類	
ミヤマトベラ	マメ	1 3		危急種				重要保護
コミヤマカタバミ	カタバミ	1 3 7		危急種			絶滅危惧 II類	
マツバニンジン	アマ	2 3 5	絶滅危惧 I A類 (CR)	危急種	絶滅危惧 I類	絶滅	絶滅	最重要保護
センダイタイゲキ	トウダイグサ	3	準絶滅危惧 (NT)	絶滅種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類		重要保護
ヒトツバハギ	トウダイグサ	3 6 7				準絶滅危惧		
ヒナノキンチャク	ヒメハギ	2 3 5	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	絶滅	絶滅危惧 I A類	重要保護
ヒナノカンザシ	ヒメハギ	2 4 7		絶滅危惧種		I類絶滅危惧		重要保護
クロカンバ	クロウメモドキ	1 3 7					絶滅危惧 II類	
クロツバラ	クロウメモドキ	2 3 4			絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	絶滅危惧 I B類	重要保護
タチスミレ	スミレ	2 3 6	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種		絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I A類	最重要保護
ヒメビシ	ヒシ	3 9	絶滅危惧 II類 (VU)		未評価	絶滅	絶滅危惧 I B類	最重要保護
ヤマトグサ	ヤマトグサ	1 3		危急種				重要保護
トウキ	セリ	3 6		危急種				
ミヤマニンジン	セリ	1 3			未評価			
シムラニンジン	セリ	3 6	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種		絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I A類	最重要保護
オオウメガサソウ	イチヤクソウ	3 10	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種				

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
アズマシャクナゲ	ツツジ	1 3 8		絶滅危惧種			準絶滅危惧	
コメツツジ	ツツジ	1 3 7					絶滅危惧 I B類	
ミツガシワ	ミツガシワ	2 3 4		絶滅危惧種		絶滅危惧 II類		重要保護
ムラサキ	ムラサキ	2 3 5 7	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧種	準絶滅危惧	絶滅危惧 I類	野生絶滅	最重要保護
ヤマホオズキ	ナス	1 3	絶滅危惧 I B類 (EN)	希少種		絶滅危惧 II類		最重要保護
シオガマギク	ゴマノハグサ	2 3 5		希少種			絶滅危惧 II類	重要保護
ホザキノミミカキグサ	タヌキモ	2 4		絶滅危惧種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	絶滅	重要保護
ムラサキミミカキグサ	タヌキモ	2 4	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	絶滅	重要保護
マツムシソウ	マツムシソウ	2 5		絶滅危惧種	希少	準絶滅危惧	絶滅危惧 I B類	
ヌマダイコン	キク	2 3 4		絶滅種		絶滅		
アズマギク	キク	2 3 5 7		希少種		絶滅危惧 I類	絶滅	最重要保護
タカサゴソウ	キク	2 3 5	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	準絶滅危惧	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I A類	消息不明・絶滅
ミコシギク	キク	2 3 4	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種				消息不明・絶滅
クルマバハグマ	キク	1 3		希少種				
イワキハグマ	キク	1 3		危急種				
ヒメヒゴタイ	キク	2 3 5	絶滅危惧 II類 (VU)	希少種	希少	絶滅危惧 I類		消息不明・絶滅
コウリンカ	キク	2 5	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I A類	
コバノヒルムシロ	ヒルムシロ	3 11	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	絶滅危惧 I類			消息不明・絶滅
フトヒルムシロ	ヒルムシロ	3 11		希少種			情報不足	
ムサシモ	イバラモ	9 11 12	絶滅危惧 I B類 (EN)	危急種				重要保護
ギョウジャニンニク	ユリ	1 3 7		危急種			絶滅危惧 I B類	
ステゴビル	ユリ	3 14	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種		絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I B類	
ヒメアマナ	ユリ	2 3 6	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧種		絶滅危惧 I類	絶滅	最重要保護
ヒナザサ	イネ	2 4	準絶滅危惧 (NT)			絶滅危惧 II類		消息不明・絶滅
カリヤスマドキ	イネ	2 3 16		絶滅危惧種			絶滅危惧 I B類	
マイヅルテンナンショウ	サトイモ	3 6	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I A類	最重要保護
カドハリイ	カヤツリグサ	2 3 4	絶滅危惧 I A類 (CR)	危急種				
ヒナラン	ラン	1 8	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧種		絶滅危惧 I類		
コアツモリソウ	ラン	1 8	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I A類	最重要保護
クマガイソウ	ラン	1 8	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I A類	重要保護
ヒタチクマガイソウ	ラン	1 3 8		絶滅危惧種				
オオミズトンボ(サワトンボ)	ラン	2 4	絶滅危惧 I B類 (EN)		絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I類		最重要保護
スズムシソウ	ラン	1 8		絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I類	絶滅	
フウラン	ラン	1 3 8	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種				最重要保護
サギソウ	ラン	2 4 8	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	準絶滅危惧	絶滅危惧 I類		最重要保護
ウチョウラン	ラン	8	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I A類	

絶滅危惧 I B類 154種

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
トネハナヤスリ	ハナヤスリ	3 6	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種		要注目	絶滅危惧 IA類	最重要保護
カラクサシダ	ミズワラビ	1 3 7					絶滅危惧 II類	最重要保護
シシラン	シシラン	1 3		危急種	絶滅危惧 II類		準絶滅危惧	消息不明・絶滅
アマクサシダ	イノモツウ	1 3		危急種			絶滅危惧 IB類	
ナンタイシダ	オシダ	1 3		希少種	希少			
メヤブソテツ	オシダ	1 3			準絶滅危惧		準絶滅危惧	
サイゴクベニシダ	オシダ	1 3		危急種			絶滅危惧 II類	
シラネワラビ	オシダ	1 3		希少種			準絶滅危惧	
キヨズミオオクジャク	オシダ	1 3						要保護
ナガバノイタチシダ	オシダ	1 3					絶滅危惧 IB類	要保護
ホソイノデ	オシダ	1 3						
チャボイノデ	オシダ	1 3					絶滅危惧 IB類	
カタイノデ	オシダ	1 3					絶滅危惧 II類	一般保護
サイゴクイノデ	オシダ	1 3					絶滅危惧 II類	一般保護
ヒカゲワラビ	メシダ	1 3		絶滅危惧種				要保護
ノコギリシダ	メシダ	1 3		危急種	絶滅		絶滅危惧 IB類	
エビランダ	メシダ	1 3		危急種			絶滅危惧 IB類	
コガネシダ	メシダ	3 7		希少種	希少		絶滅危惧 II類	
サジラン	ウラボシ	1 3		絶滅危惧種	絶滅危惧 II類		絶滅危惧 II類	
クリハラン	ウラボシ	1 3		危急種			準絶滅危惧	絶滅危惧 IA類
オシャグジデンダ	ウラボシ	1 7		危急種			絶滅危惧 IB類	最重要保護
サンショウモ	サンショウモ	13 14	絶滅危惧 II類 (VU)		絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	重要保護
ツガ	マツ	1 3		希少種				一般保護
サクラバハンノキ	カバノキ	3	準絶滅危惧 (NT)	危急種	絶滅危惧 I類	準絶滅危惧		
トキホコリ	イラクサ	1 16	絶滅危惧 II類 (VU)		未評価	要注目	絶滅危惧 II類	重要保護
ミヤマツチトリモチ	ツチトリモチ	1 3	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	情報不足	
コギンギシ	タデ	6	絶滅危惧 II類 (VU)		未評価	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	
マルミノヤマゴボウ	ヤマゴボウ	1 3		希少種		I 類絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	
ワチガイソウ	ナデシコ	1 3		危急種			準絶滅危惧	
ヒナワチガイソウ	ナデシコ	1 3	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種				最重要保護
アズマレイジンソウ	キンポウゲ	1					絶滅危惧 II類	
ミチノクフクジュソウ	キンポウゲ	3 8	準絶滅危惧 (NT)			絶滅危惧 II類		
フクジュソウ	キンポウゲ	8		危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	最重要保護
エンコウソウ	キンポウゲ	8		危急種		絶滅危惧 II類		
スハマソウ	キンポウゲ	1 8		危急種				要保護
ヒメウズ	キンポウゲ	3		危急種			絶滅危惧 II類	
シキンカラマツ	キンポウゲ	2 3 5		希少種	絶滅危惧 II類			
ジュンサイ	スイレン	9 12				絶滅危惧 II類	絶滅	最重要保護
ヒツジグサ	スイレン	9 12		希少種		絶滅危惧 II類	絶滅	最重要保護
ベニバナヤマシャクヤク	ボタン	1 3 8	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	
コモウセンゴケ	モウセンゴケ	2 4 13		絶滅危惧種	絶滅危惧 I類			要保護
イワハタザオ	アブラナ	1 3			絶滅危惧 II類			
オオチチッパベンケイ	ベンケイソウ	1 3	絶滅危惧 I B類 (EN)	危急種	希少			
ヒメレンゲ	ベンケイソウ	1		危急種				

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
アズマツメクサ	ベンケイソウ	2 3 4	準絶滅危惧 (NT)			I 類絶滅危惧	絶滅危惧 IA類	最重要保護
イワネコノメソウ	ユキノシタ	1 3			絶滅危惧 I 類			
ヤグルマソウ	ユキノシタ	1 3		危急種				
ミヤマザクラ	バラ	1 3						
アズマイバラ	バラ	1 3		希少種		準絶滅危惧		
コジキイチゴ	バラ	1 3		希少種				
ナガボノアカワレモコウ	バラ	6		危急種		準絶滅危惧	絶滅危惧 II 類	
ナンキンナナカマド	バラ	1 3		希少種	希少		準絶滅危惧	重要保護
イタチササゲ	マメ	2 3 5						
マルミノウルシ	トウダイグサ	1 3	準絶滅危惧 (NT)		絶滅危惧 I 類		絶滅危惧 IB類	
カラコギカエデ	カエデ	2 4 6		危急種				
コガンピ	ジンチョウゲ	2 3 5		危急種		準絶滅危惧	絶滅	重要保護
ナガハシスミレ	スミレ	1 3						
ミズキンバイ	アカバナ	3 11	絶滅危惧 II 類 (VU)				情報不足	重要保護
フサモ	アリノトウゲサ	11 12		危急種		情報不足	準絶滅危惧	要保護
エキサイゼリ	セリ	2 4 6	準絶滅危惧 (NT)	危急種		絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 IA類	最重要保護
ミシマサイコ	セリ	2 5 7	絶滅危惧 II 類 (VU)		絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 I 類	絶滅	要保護
マルバトウキ	セリ	10		危急種	希少			
サラサドウダン	ツツジ	1 3		絶滅危惧種			準絶滅危惧	
ヒカゲツツジ	ツツジ	1 3		絶滅危惧種	未評価	準絶滅危惧	絶滅危惧 II 類	最重要保護
ノジトラノオ	サクラソウ	2 5	絶滅危惧 II 類 (VU)	危急種		絶滅危惧 I 類	絶滅危惧 IB類	要保護
クリンソウ	サクラソウ	3 8		絶滅危惧種			絶滅危惧 IB類	
サクラソウ	サクラソウ	3 8	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	準絶滅危惧	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 IA類	
ヒメナエ	マチン	2 4	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I 類	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 IA類	重要保護
コケリンドウ	リンドウ	2 5				要注目	絶滅危惧 IB類	一般保護
チヨウジソウ	キヨウチクトウ	6	準絶滅危惧 (NT)	危急種	未評価	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 IB類	消息不明・絶滅
フナバラソウ	ガガイモ	2 5	絶滅危惧 II 類 (VU)		準絶滅危惧	絶滅危惧 I 類	絶滅危惧 IA類	重要保護
イヨカズラ	ガガイモ	10			準絶滅危惧			一般保護
キバナカラマツバ	アカネ	3 7		希少種				
サワルリソウ	ムラサキ	1 3		希少種	希少	準絶滅危惧	絶滅危惧 IA類	最重要保護
ルリソウ	ムラサキ	1					絶滅	重要保護
クマツヅラ	クマツヅラ	3					絶滅危惧 II 類	
カイジンドウ	シソ	2 3 5	絶滅危惧 II 類 (VU)		未評価	絶滅	情報不足	消息不明・絶滅
ツルカコソウ	シソ	2 3 5	絶滅危惧 II 類 (VU)			準絶滅危惧	絶滅	
ミズネコノオ	シソ	3 4 13	準絶滅危惧 (NT)	危急種		準絶滅危惧	絶滅	重要保護
ミズトラノオ	シソ	3 4 13	絶滅危惧 II 類 (VU)	危急種	未評価	絶滅危惧 I 類	絶滅	重要保護
エゾタツナミソウ	シソ	1 3 7			希少			
ハシリドコロ	ナス	1 3						
ゴマクサ	ゴマノハグサ	2 4	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧種		絶滅危惧 I 類		重要保護
キタミソウ	ゴマノハグサ	3 6	絶滅危惧 II 類 (VU)				絶滅危惧 IB類	
イヌタヌキモ	タヌキモ	9 11 12	準絶滅危惧 (NT)	危急種		準絶滅危惧		重要保護
ミニカギグサ	タヌキモ	2 4		絶滅危惧種	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 II 類	絶滅	重要保護
ハヤザキヒヨウタンボク	スイカズラ	1 7		危急種	希少		絶滅危惧 IA類	
キバナウツギ	スイカズラ	1 3		希少種	希少		絶滅危惧 II 類	

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
イワツクバネウツギ	スイカズラ	1 3	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	
キンレイカ	オミナエシ	1 3		希少種			準絶滅危惧	
ナベナ	マツムシソウ	1 3		希少種		準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	重要保護
ヒナギキョウ	キキョウ	2 5						要保護
ヤハズハハコ	キク	3 7		危急種			準絶滅危惧	
モリアザミ	キク	2 5				絶滅危惧 I類		最重要保護
ヨツバヒヨドリ	キク	2 3 5						
ヤナギタンポポ	キク	10		危急種			絶滅危惧 IA類	
ホソバオグルマ	キク	2 3 4	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種		準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	要保護
カワラニガナ	キク	6	準絶滅危惧 (NT)		注意	要注目	絶滅危惧 II類	
キオン	キク	1 2 4		希少種			準絶滅危惧	
センニンモ	ヒルムシロ	6 9 12			絶滅危惧 II類		準絶滅危惧	野生絶滅
リュウノヒゲモ	ヒルムシロ	6 9 12	準絶滅危惧 (NT)	希少種	絶滅			重要保護
エビアマモ	アマモ	3 10	準絶滅危惧 (NT)	危急種				要保護
サガミトリゲモ	イバラモ	9 11 12	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類		
イトリゲモ	イバラモ	9 11 12	準絶滅危惧 (NT)	危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	情報不足	重要保護
ホツヌモ	イバラモ	9 11 12				絶滅危惧 II類	情報不足	重要保護
イバラモ	イバラモ	9 11 12			絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I類		最重要保護
トリゲモ	イバラモ	9 11 12	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	未評価	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 IB類	要保護
オオトリゲモ	イバラモ	9 11 12 13				準絶滅危惧		重要保護
キバナノアマナ	ユリ	1 2 5				準絶滅危惧	準絶滅危惧	
ミヤマスカシユリ	ユリ	1 3	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧種			絶滅危惧 IA類	
ホソバノアマナ	ユリ	1 2 5		希少種		絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	
ホトギス	ユリ	1 2 5		危急種			絶滅危惧 II類	
タマガワホトギス	ユリ	1 3		危急種			準絶滅危惧	
ヒメドコロ	ヤマノイモ	3		希少種				
ヒメシャガ	アヤメ	3 8	準絶滅危惧 (NT)	危急種		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IB類	消息不明・絶滅
クロイヌノヒゲ	ホシクサ	2 4	準絶滅危惧 (NT)		準絶滅危惧	要注目	絶滅	
ホシクサ	ホシクサ	2 4			準絶滅危惧		絶滅危惧 IB類	要保護
イトイヌノヒゲ	ホシクサ	2 4					絶滅危惧 IB類	要保護
ヤマトホシクサ	ホシクサ	2 4	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	未評価	絶滅危惧 I類		消息不明・絶滅
クロホシクサ	ホシクサ	2 4	絶滅危惧 II類 (VU)			絶滅危惧 I類		重要保護
シロイヌノヒゲ	ホシクサ	2 4			準絶滅危惧	絶滅危惧 I類		
アイアシ	イネ	2 4		危急種	準絶滅危惧			一般保護
ウキシバ	イネ	3 9		希少種	準絶滅危惧	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	要保護
フクロダガヤ	イネ	3	絶滅危惧 I B類 (EN)	危急種		絶滅危惧 I類		
ヒトツバテンナンショウ	サトイモ	1 3						
ムサシアブミ	サトイモ	1 3		危急種				
ヒメクリ	ミクリ	11	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類		最重要保護
ヌマアゼスゲ	カヤツリグサ	2 3 4	絶滅危惧 II類 (VU)	希少種		準絶滅危惧	絶滅危惧 IA類	重要保護
オキナワジュズスゲ	カヤツリグサ	1 3						一般保護
アサマスゲ	カヤツリグサ	2 4	準絶滅危惧 (NT)	希少種				要保護
ヌマクロボスゲ	カヤツリグサ	2 3 4	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	絶滅危惧 II類			最重要保護
キシュウナキリスゲ	カヤツリグサ	1 3	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種				

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
エゾツリスゲ	カヤツリグサ	2 4		希少種	絶滅危惧 II類			最重要保護
オオクグ	カヤツリグサ	2 3 4	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	絶滅危惧 II類			要保護
ヒトモトススキ	カヤツリグサ	3 10		絶滅危惧種				一般保護
マシカクイ	カヤツリグサ	2 3 4		危急種				重要保護
サギスゲ	カヤツリグサ	2 4		危急種		準絶滅危惧		
トネテンツキ	カヤツリグサ	3 4 6	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種				要保護
シラン	ラン	2 4 8	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IB類	要保護
キンセイラン	ラン	1	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	
ベニシュラン	ラン	1 3			絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	情報不足	最重要保護
アケボノシュラン	ラン	1 3		危急種	絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	重要保護
ミズトンボ	ラン	2 4	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	準絶滅危惧	絶滅危惧 I類		最重要保護
ホクリクムヨウラン	ラン	1 3						
ウスギムヨウラン	ラン	1 3	準絶滅危惧 (NT)			準絶滅危惧		
クロムヨウラン	ラン	1 3		危急種		準絶滅危惧		重要保護
ギボウシラン	ラン	1 3	絶滅危惧 I B類 (EN)	危急種		絶滅危惧 II類		最重要保護
コケイラン	ラン	1 3		危急種	絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	重要保護
マイサギソウ	ラン	2 5 7		希少種		絶滅危惧 II類		
トキソウ	ラン	2 4 8	準絶滅危惧 (NT)	危急種	準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	重要保護
ヤマトキソウ	ラン	2 3 5		危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	絶滅	消息不明・絶滅
マツラン	ラン	1 3 7	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種		準絶滅危惧		最重要保護
モミラン	ラン	1 3 7	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類		
クモラン	ラン	1 3 7		絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	最重要保護

絶滅危惧Ⅱ類 168種

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
マンネンスギ	ヒカゲノカズラ	1		希少種			絶滅危惧IB類	
コヒロハハナヤスリ	ハナヤスリ	2 5			絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	
コハナヤスリ	ハナヤスリ	2 5			未評価		絶滅危惧IB類	
ハマハナヤスリ	ハナヤスリ	2 5			希少			
オオバノハチジョウシダ	イノモトソウ	1		危急種	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧IB類	
オオカナワラビ	オシダ	1					準絶滅危惧	
ホソバカナワラビ	オシダ	1		希少種			絶滅危惧IA類	
オニカナワラビ	オシダ	1		希少種			絶滅危惧IB類	要保護
コバンカナワラビ	オシダ	1 3						
イワヘゴ	オシダ	1		希少種			準絶滅危惧	一般保護
オオクジャクシダ	オシダ	1		希少種	希少			要保護
サクライカグマ	オシダ	1		希少種			絶滅危惧Ⅱ類	一般保護
ヒメカナワラビ	オシダ	1		希少種	希少		絶滅危惧IB類	
オオキヨズミシダ	オシダ	1		希少種	希少		絶滅危惧IB類	一般保護
コハシゴシダ	ヒメシダ	1 2 5		希少種			絶滅危惧IB類	
ニッコウシダ	ヒメシダ	2 4		希少種			絶滅危惧IB類	
カラクサイヌワラビ	メシダ	1		希少種				要保護
ヘラシダ	メシダ	1		希少種	準絶滅危惧		絶滅危惧IA類	
オニヒカゲワラビ	メシダ	1		危急種	準絶滅危惧			要保護
ホテイシダ	ウラボシ	1		希少種			絶滅危惧Ⅱ類	
ミヤマノキシノブ	ウラボシ	1		希少種				
ヒメコマツ	マツ	1		危急種				
イブキ	ヒノキ	1 10		危急種	準絶滅危惧			要保護
ダケカンバ	カバノキ	1		希少種				
ウダイカンバ	カバノキ	1		希少種				
シラカンバ	カバノキ	1		希少種				
ハシバミ	カバノキ	1						一般保護
ハルニレ	ニレ	1						最重要保護
コケミズ	イラクサ	1			未評価		準絶滅危惧	
ウナギツカミ	タデ	2 4					絶滅危惧Ⅱ類	
ヤナギヌカボ	タデ	4 6	絶滅危惧Ⅱ類(VU)		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧I類		
ナガバノウナギツカミ	タデ	2 4	準絶滅危惧(NT)		未評価	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅	要保護
ヌカボタデ	タデ	4 6	絶滅危惧Ⅱ類(VU)		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類	要保護
ニオイタデ	タデ	2 4		危急種				
ノダイオウ	タデ	4 6	絶滅危惧Ⅱ類(VU)		絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	絶滅危惧IA類	
ワダソウ	ナデシコ	1			未評価		準絶滅危惧	
ナンブワチガイソウ	ナデシコ	1	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	危急種	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類		
ヤマグルマ	ヤマグルマ	1						
ヒメイチゲ	キンポウゲ	1 3					準絶滅危惧	
レンゲショウマ	キンポウゲ	1 3		希少種	絶滅危惧Ⅱ類		準絶滅危惧	
カザグルマ	キンポウゲ	1 8	準絶滅危惧(NT)	危急種	絶滅危惧I類	準絶滅危惧	絶滅危惧IB類	重要保護
コキツネノボタン	キンポウゲ	4 6	絶滅危惧Ⅱ類(VU)			絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧IB類	最重要保護
オトコゼリ	キンポウゲ	2 4				準絶滅危惧	絶滅危惧IB類	
ヒキノカサ	キンポウゲ	6	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	危急種	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅	絶滅危惧IA類	重要保護

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
ノカラマツ	キンポウゲ	6	絶滅危惧 II類 (VU)	希少種	絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	重要保護
コウホネ	スイレン	6				絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	重要保護
オオバウマノスズクサ	ウマノスズクサ	1		希少種				
ヤマシャクヤク	ボタン	1	準絶滅危惧 (NT)	危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類		消息不明・絶滅
モウセンゴケ	モウセンゴケ	2 4				準絶滅危惧	絶滅危惧 IA類	要保護
ハクサンハタザオ	アブラナ	1						
ハマハタザオ	アブラナ	10			準絶滅危惧			要保護
コイヌガラシ	アブラナ	6	準絶滅危惧 (NT)			要注目	準絶滅危惧	一般保護
ハタザオ	アブラナ	2 5				絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	要保護
ウメバチソウ	ユキノシタ	2 4				準絶滅危惧	絶滅危惧 IA類	重要保護
エドヒガン	バラ	1						一般保護
オオダイコンソウ	バラ	1 2 5						重要保護
リンボク	バラ	1		希少種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IB類	一般保護
モリイバラ	バラ	1		希少種		準絶滅危惧		
ハマナス	バラ	10		危急種	絶滅危惧 II類			一般保護
ナガボンシロワレモコウ	バラ	2 4 6		希少種		準絶滅危惧	準絶滅危惧	一般保護
アイズシモツケ	バラ	1						
タヌキマメ	マメ	2 5		危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	要保護
イヌハギ	マメ	2 5	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	重要保護
マキエハギ	マメ	2 5				絶滅危惧 I類		
タンキリマメ	マメ	2 5				準絶滅危惧		
ヨツバハギ	マメ	2 5						
オオバクサフジ	マメ	2 5				準絶滅危惧		
ナツフジ	マメ	3		危急種				
タチフウロ	フウロソウ	2 5						一般保護
オオイタヤメイゲツ	カエデ	1			希少			
サワダツ	ニシキギ	1 3						要保護
イソノキ	クロウメモドキ	2 4		危急種				
シナノキ	シナノキ	1						要保護
サクラスマレ	スマレ	2 5					絶滅危惧 II類	
ミズマツバ	ミソハギ	13	絶滅危惧 II類 (VU)	希少種	絶滅危惧 I類	要注目	絶滅危惧 II類	
ミズキカシグサ	ミソハギ	13	絶滅危惧 II類 (VU)			絶滅危惧 I類		
ウシタキソウ	アカバナ	1					準絶滅危惧	一般保護
イワアカバナ	アカバナ	2 4						
ミズユキノシタ	アカバナ	11		危急種		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	重要保護
ホタルサイコ	セリ	2 5 7			絶滅危惧 II類		準絶滅危惧	重要保護
イワセントウソウ	セリ	1						
ヌマゼリ	セリ	2 4	絶滅危惧 II類 (VU)		準絶滅危惧	要注目	絶滅危惧 IA類	
シャクジョウソウ	イチヤクソウ	1		希少種			準絶滅危惧	一般保護
シロヤシオ(ゴヨウツツジ)	ツツジ	1					準絶滅危惧	
ヤナギトランオ	サクラソウ	9		絶滅種	希少	絶滅危惧 I類		
イヌセンブリ	リンドウ	2 5	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	希少	絶滅危惧 II類	絶滅	重要保護
ガガブタ	ミツガシワ	9	準絶滅危惧 (NT)	危急種	絶滅		絶滅危惧 IA類	要保護
アザザ	ミツガシワ	9	準絶滅危惧 (NT)	希少種	絶滅危惧 II類	要注目	絶滅危惧 II類	重要保護

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
コカモメヅル	ガガイモ	2 5					準絶滅危惧	最重要保護
スズサイコ	ガガイモ	2 5	準絶滅危惧 (NT)	希少種	準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IB類	要保護
アリドオシ	アカネ	1		希少種			絶滅危惧 II類	
オオアリドオシ (ニセジュズネノキ)	アカネ	1						一般保護
ハナムグラ	アカネ	2 4	絶滅危惧 II類 (VU)	希少種	未評価	要注目	絶滅危惧 IB類	要保護
スナビキソウ	ムラサキ	10			未評価			要保護
オニルリソウ	ムラサキ	1						重要保護
ヒイラギソウ	シソ	1	絶滅危惧 I B類 (EN)	希少種		準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	
キセワタ	シソ	2 5	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	希少	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 IB類	要保護
ヒメハッカ	シソ	2 4	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IB類	重要保護
ヤマジソ	シソ	2 5	準絶滅危惧 (NT)	危急種	希少	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	要保護
ナミキソウ	シソ	10			未評価	絶滅		消息不明・絶滅
マルバノサワトウガラシ	ゴマノハグサ	13 14	絶滅危惧 II類 (VU)	希少種	未評価	絶滅危惧 II類	絶滅	重要保護
オオアブノメ	ゴマノハグサ	2 4	絶滅危惧 II類 (VU)		絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IB類	最重要保護
ヤマウツボ	ゴマノハグサ	1					絶滅危惧 II類	
クチナシグサ	ゴマノハグサ	1		希少種		準絶滅危惧	準絶滅危惧	消息不明・絶滅
ゴマノハグサ	ゴマノハグサ	6	絶滅危惧 II類 (VU)		未評価	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	要保護
オオヒキヨモギ	ゴマノハグサ	2 5	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種		準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	
イヌノフグリ	ゴマノハグサ	15	絶滅危惧 II類 (VU)		準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	
ハマウツボ	ハマウツボ	10	絶滅危惧 II類 (VU)		絶滅危惧 I類	情報不足		最重要保護
オミナエシ	オミナエシ	2 5					絶滅危惧 IB類	一般保護
ツルギキョウ	キキョウ	1	絶滅危惧 II類 (VU)	希少種		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	最重要保護
バアソブ	キキョウ	2 5	絶滅危惧 II類 (VU)		希少	要注目	絶滅危惧 IB類	重要保護
キキョウ	キキョウ	2 5 8	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種		絶滅危惧 I類	絶滅危惧 IA類	最重要保護
ノコギリンソウ	キク	2 5						
カワラハハコ	キク	6					絶滅危惧 II類	
シロヨモギ	キク	10		危急種	準絶滅危惧			
ヒメシオン	キク	2 4		危急種		準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	重要保護
ウラギク	キク	6	準絶滅危惧 (NT)	希少種				要保護
コハマギク	キク	10		希少種	準絶滅危惧			
フジバカマ	キク	6	準絶滅危惧 (NT)	危急種	希少	絶滅危惧 I類	準絶滅危惧	最重要保護
アキノハハコグサ	キク	2 5	絶滅危惧 I B類 (EN)		希少	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 IA類	重要保護
マルバダケブキ	キク	1					準絶滅危惧	
ハマギク	キク	10		希少種				
ミヤコアザミ	キク	1		危急種			絶滅危惧 IB類	消息不明・絶滅
キクアザミ	キク	2 5				絶滅危惧 I類	絶滅危惧 IB類	要保護
ハバヤマボクチ	キク	1		希少種		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	重要保護
オカオグルマ	キク	2 5				準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	要保護
サワオグルマ	キク	2 4					絶滅危惧 IB類	一般保護
ネコノンシタ	キク	10		希少種	絶滅			
トウゴクヘラオモダカ	オモダカ	2 4	絶滅危惧 II類 (VU)		絶滅危惧 I類	準絶滅危惧		要保護
アギナシ	オモダカ	2 4	準絶滅危惧 (NT)		絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	絶滅危惧 IA類	要保護
スプタ	トチカガミ	13 14	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I類	絶滅	重要保護

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
クロモ	トチカガミ	9 11 12				絶滅危惧 I類	絶滅危惧 IB類	要保護
トチカガミ	トチカガミ	11	準絶滅危惧 (NT)		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	要保護
コウガイモ	トチカガミ	6 12				準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	重要保護
セキショウモ	トチカガミ	6 12			絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	準絶滅危惧	要保護
オオササエビモ	ヒルムシロ	9		希少種				保護参考雑種
イトモ	ヒルムシロ	6 9	準絶滅危惧 (NT)		準絶滅危惧	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	最重要保護
ササバモ	ヒルムシロ	6 9			絶滅危惧 I類		準絶滅危惧	一般保護
ノギラン	ユリ	1 2 5		希少種			準絶滅危惧	
アマナ	ユリ	2 5		希少種			準絶滅危惧	要保護
キジカクシ	ユリ	1 5		希少種		準絶滅危惧	準絶滅危惧	要保護
スズラン	ユリ	1 2 5			準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	絶滅	
ヒメマイヅルソウ	ユリ	1 3		危急種	絶滅危惧 II類		情報不足	
ヒオウギ	アヤメ	2 5		危急種		絶滅危惧 I類		重要保護
カキツバタ	アヤメ	2 4	準絶滅危惧 (NT)	危急種	注意	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	最重要保護
アヤメ	アヤメ	2 5					準絶滅危惧	重要保護
ハイチゴザサ	イネ	1				準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	要保護
ヤマトクリ	ミクリ	11	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	準絶滅危惧	準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	最重要保護
ナガエミクリ	ミクリ	6 11	準絶滅危惧 (NT)	危急種	注意	要注目	絶滅危惧 II類	最重要保護
イトンツキ	カヤツリグサ	2 4	準絶滅危惧 (NT)		未評価	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IB類	
ヒメスグ	カヤツリグサ	2 3 5		絶滅危惧種				
シオクグ	カヤツリグサ	2 4						一般保護
コツブスマハリイ	カヤツリグサ	2 4	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	重要保護
オオイスノハナヒゲ	カヤツリグサ	2 4		危急種			情報不足	重要保護
タタラカンガレイ	カヤツリグサ	2 4		希少種		準絶滅危惧	絶滅危惧 IA類	一般保護
シズイ	カヤツリグサ	2 4		危急種		準絶滅危惧		最重要保護
マメヅタラン	ラン	1	準絶滅危惧 (NT)	危急種	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類		最重要保護
ムギラン	ラン	1	準絶滅危惧 (NT)	危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	最重要保護
エビネ	ラン	1 8	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IB類	一般保護
ユウシュンラン	ラン	1	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	
クゲヌマラン	ラン	1	絶滅危惧 II類 (VU)		絶滅危惧 I類	情報不足		重要保護
マヤラン	ラン	1	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種		情報不足	情報不足	要保護
セッコク	ラン	1 8		絶滅危惧種	絶滅危惧 I類	準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	最重要保護
カキラン	ラン	1				絶滅危惧 II類	絶滅	重要保護
ムカゴソウ	ラン	2 5	絶滅危惧 I B類 (EN)	危急種	未評価	絶滅危惧 I類		最重要保護
コフタバラン	ラン	1		危急種	絶滅危惧 II類		絶滅危惧 II類	
ツレサギソウ	ラン	1 2 5		希少種		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	重要保護
ハクウンラン	ラン	1		危急種	絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	

準絶滅危惧 143種

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
エゾノヒメクラマゴケ	イワヒバ	1		希少種				
カタヒバ	イワヒバ	1		希少種	絶滅危惧 II類		準絶滅危惧	要保護
イワヒバ	イワヒバ	8		危急種		準絶滅危惧	準絶滅危惧	重要保護
ミズニラ	ミズニラ	2 4	準絶滅危惧 (NT)	希少種	準絶滅危惧	要注目	絶滅危惧 II類	
ヤシャゼンマイ	ゼンマイ	6		危急種			絶滅危惧 II類	
オオキジノオ	キジノシダ	1			絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	絶滅危惧 IA類	要保護
アオホラゴケ	コケシノブ	1		希少種	希少	情報不足	絶滅危惧 II類	重要保護
ハイホラゴケ	コケシノブ	1		希少種		準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	要保護
コバノイシカグマ	コバノイシカグマ	1		希少種	絶滅危惧 II類		準絶滅危惧	最重要保護
シノブ	シノブ	1 8						重要保護
クモノシダ	チャセンシダ	1		希少種			準絶滅危惧	要保護
コタニワタリ	チャセンシダ	1		危急種				重要保護
マルバベニシダ	オシダ	1		希少種	希少		準絶滅危惧	
イノデモドキ	オシダ	1		希少種	未評価			要保護
ミヤマワラビ	ヒメシダ	1						
ウスヒメワラビ	メシダ	1		希少種			準絶滅危惧	
ミヤマシダ	メシダ	1						
ビロードシダ	ウラボシ	1						要保護
ネズミサシ	ヒノキ	1				準絶滅危惧	準絶滅危惧	
シバヤナギ	ヤナギ	1						
コゴメヤナギ	ヤナギ	6			絶滅危惧 I類			
オノオレカンバ	カバノキ	1		希少種				
ツクバネガシ	ブナ	1			絶滅危惧 I類			要保護
ホソバイヌタデ	タデ	6	準絶滅危惧 (NT)			絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IB類	要保護
フジナデシコ(ハマナデシコ)	ナデシコ	10		危急種	準絶滅危惧			
カワラナデシコ	ナデシコ	2 5					絶滅危惧 II類	
オオヤマフスマ	ナデシコ	2 5					絶滅危惧 IB類	重要保護
フシグロセンノウ	ナデシコ	1					準絶滅危惧	要保護
カゴノキ	クスノキ	1		希少種	絶滅危惧 I類	準絶滅危惧		
イチリンソウ	キンポウゲ	1 8			準絶滅危惧		準絶滅危惧	要保護
キクザキイチゲ	キンポウゲ	1						最重要保護
アズマイチゲ	キンポウゲ	1					準絶滅危惧	重要保護
コセリバオウレン	キンポウゲ	1			未評価			要保護
ミヤマカラマツ	キンポウゲ	1						
コウモリカズラ	ツヅラフジ	1		危急種			準絶滅危惧	
マツモ	マツモ	11 12			絶滅危惧 II類		絶滅危惧 II類	要保護
トモエソウ	オトギリソウ	1					絶滅危惧 II類	要保護
ミズオトギリ	オトギリソウ	2 4					絶滅危惧 IB類	要保護
ナガミツルキケマン	ケシ	1	準絶滅危惧 (NT)		準絶滅危惧	要注目		
ヤマブキソウ	ケシ	1		希少種			準絶滅危惧	重要保護
ムカゴネコノメ	ユキノシタ	1	準絶滅危惧 (NT)		準絶滅危惧	要注目		要保護
タコノアシ	ユキノシタ	2 4	準絶滅危惧 (NT)	希少種	絶滅危惧 II類	要注目	絶滅危惧 II類	
チョウジザクラ	バラ	1						
カワラサイコ	バラ	6 10					絶滅危惧 II類	要保護

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
フジキ	マメ	1			絶滅危惧 II類			重要保護
マルバヌスビトハギ	マメ	1			準絶滅危惧			
ノアズキ	マメ	2 5			準絶滅危惧	絶滅危惧 II類		
レンリソウ	マメ	2 5					絶滅危惧 IB類	要保護
ミヤマタニワタシ	マメ	1			未評価			
ノウルシ	トウダイグサ	6	準絶滅危惧 (NT)		絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	要保護
フュザンショウ	ミカン	1			絶滅危惧 II類		準絶滅危惧	要保護
クロガネモチ	モチノキ	1		希少種				
ツクバゲミ (ニッコウナツグミ)	グミ	1			絶滅危惧 II類			
アリアケスマレ	スミレ	6		危急種				
ヒメミソハギ	ミソハギ	13		希少種			準絶滅危惧	
ウスグロウジタデ	アカバナ	13	準絶滅危惧 (NT)			要注目	絶滅危惧 II類	
ハナビゼリ	セリ	1			未評価		絶滅危惧 II類	
シャク	セリ	1						
ハマボウフウ	セリ	10		危急種	絶滅危惧 II類			要保護
オオバチドメ	セリ	1		希少種		準絶滅危惧	準絶滅危惧	
イワウチワ	イワウメ	8		危急種				
ホツツジ	ツツジ	1						
レンゲツツジ	ツツジ	1 8					絶滅危惧 II類	要保護
イズセンリョウ	ヤブコウジ	1		希少種				
アイナエ	マチン	2 4			絶滅危惧 I類		準絶滅危惧	重要保護
コイケマ	ガガイモ	2 5				絶滅危惧 II類		要保護
キジョラン	ガガイモ	1		希少種	準絶滅危惧			一般保護
クルマムグラ	アカネ	1						
オオハシカグサ	アカネ	1			準絶滅危惧			
カリガネソウ	クマツヅラ	1					絶滅危惧 IB類	要保護
ヒキオコシ	シソ	1						要保護
タカクマヒキオコシ	シソ	2 4			未評価		情報不足	
ミゾコウジュ	シソ	6	準絶滅危惧 (NT)	希少種	未評価	要注目	準絶滅危惧	一般保護
ヒメナミキ	シソ	2 4					絶滅危惧 IB類	一般保護
ミヤマナミキ	シソ	1			未評価			
イブキジャコウソウ	シソ	1		危急種				
オオマルバノホロシ	ナス	2 5						要保護
ミヤマママコナ	ゴマノハグサ	1					準絶滅危惧	
カワヂシャ	ゴマノハグサ	6 15	準絶滅危惧 (NT)		準絶滅危惧	準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	
オオナンバンギセル	ハマウツボ	2 5					絶滅危惧 IB類	要保護
コウグイスカグラ	スイカズラ	1						
ゴマギ	スイカズラ	6					準絶滅危惧	
フクシマシャジン	キキョウ	1		希少種			準絶滅危惧	
シデシャジン	キキョウ	1						
サワシロギク	キク	2 4					情報不足	重要保護
オオガンクビソウ	キク	1					準絶滅危惧	
キクタニギク	キク	2 5	準絶滅危惧 (NT)			要注目	準絶滅危惧	要保護

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
ノニガナ	キク	6			準絶滅危惧		準絶滅危惧	一般保護
オオモミジガサ	キク	1			希少		絶滅危惧 II類	
オオカニコウモリ	キク	1						
ヤマタイミングサ	キク	1						
オヤリハグマ	キク	1		希少種				
オオニガナ	キク	2 4			準絶滅危惧	準絶滅危惧	絶滅危惧 IA類	要保護
アサマヒゴタイ	キク	1		希少種	希少		絶滅危惧 II類	
ハンゴンソウ	キク	1						
タムラソウ	キク	2 5						
ウスギタンボポ	キク	2 5						
サジオモダカ	オモダカ	9			準絶滅危惧		絶滅危惧 IB類	重要保護
ヤナギスブタ	トチカガミ	13				準絶滅危惧	絶滅	要保護
ミズオオバコ	トチカガミ	13	絶滅危惧 II類 (VU)			要注目	絶滅危惧 II類	要保護
ヤナギモ	ヒルムシロ	6 12					準絶滅危惧	
ヤマラッキョウ	ユリ	2 5					絶滅危惧 II類	一般保護
ゼンティカ	ユリ	2 5					絶滅危惧 II類	
コオニユリ	ユリ	2 5					準絶滅危惧	要保護
マイヅルソウ	ユリ	1		危急種				
シロバナエンレイソウ (ミヤマエンレイソウ)	ユリ	1					準絶滅危惧	
ニガカシュウ	ヤマノイモ	6		希少種		準絶滅危惧		
ウチワドコロ	ヤマノイモ	1						
ミズアオイ	ミズアオイ	13 14	準絶滅危惧 (NT)	危急種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 IA類	要保護
ノハナショウブ	アヤメ	2 4			注意		絶滅危惧 II類	重要保護
ヒロハノイヌノヒゲ	ホシクサ	2 4					絶滅危惧 II類	
ニッポンイヌノヒゲ	ホシクサ	2 4					絶滅危惧 IB類	要保護
ヒメコスカグサ	イネ	2 4	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	未評価	要注目	絶滅危惧 II類	要保護
ムツオレグサ	イネ	13				準絶滅危惧	準絶滅危惧	
カモノハシ	イネ	2 4				絶滅危惧 I類		
セイタカヨシ	イネ	9		希少種			絶滅危惧 II類	要保護
イヌアワ	イネ	1						一般保護
ヒゲシバ	イネ	2 4		希少種		準絶滅危惧	準絶滅危惧	最重要保護
ザゼンソウ	サトイモ	1		希少種		準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	
ヒメザゼンソウ	サトイモ	1		希少種		準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	
ミクリ	ミクリ	6 11	準絶滅危惧 (NT)	希少種	注意	要注目	準絶滅危惧	要保護
ツクバスゲ	カヤツリグサ	1		希少種			準絶滅危惧	一般保護
アワボスゲ	カヤツリグサ	2 4		希少種			絶滅危惧 II類	
ジョウロウスゲ	カヤツリグサ	2 4	絶滅危惧 II類 (VU)			準絶滅危惧	絶滅危惧 IA類	一般保護
ヤマクボスゲ	カヤツリグサ	1 3	準絶滅危惧 (NT)			絶滅危惧 II類		
ヤガミスゲ	カヤツリグサ	2 4				準絶滅危惧		要保護
カンエンガヤツリ	カヤツリグサ	2 4	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種		準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	一般保護
ビロードテンツキ	カヤツリグサ	10						要保護
イトイヌノハナヒゲ	カヤツリグサ	2 4		希少種			絶滅危惧 IB類	重要保護
ノグサ	カヤツリグサ	2 4			準絶滅危惧		情報不足	一般保護

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
ギンラン	ラン	1			絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	要保護
キンラン	ラン	1 8	絶滅危惧 II類 (VU)		準絶滅危惧	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IB類	一般保護
ハマカキラン	ラン	10	絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	絶滅危惧 II類			最重要保護
オニノヤガラ	ラン	1					絶滅危惧 II類	要保護
ムヨウラン	ラン	1		危急種	絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	情報不足	重要保護
ジガバチソウ	ラン	1				準絶滅危惧	準絶滅危惧	重要保護
アオフタバラン	ラン	1		希少種	絶滅危惧 I類			
ヨウラクラン	ラン	1		希少種	絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	絶滅	一般保護
ジンバイソウ	ラン	1		希少種			絶滅危惧 IB類	
ミズチドリ	ラン	2 4		希少種		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	重要保護
オオヤマサギソウ	ラン	1		希少種			絶滅危惧 II類	
カヤラン	ラン	1			絶滅危惧 II類		準絶滅危惧	重要保護
ヒツボクロ	ラン	1		危急種	絶滅危惧 II類		絶滅危惧 IB類	重要保護

情報不足①注目種 29種

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
アカハナワラビ	ハナヤスリ						準絶滅危惧	重要保護
ウスイハナワラビ	ハナヤスリ							
ヤマソテツ	キジノオシダ			希少種				
フモトカグマ	コバノイシカグマ							要保護
フジシダ	コバノイシカグマ				希少		準絶滅危惧	
ミヤコヤブソテツ	オシダ							
ハチジョウベニシダ	オシダ							
ギフベニシダ	オシダ						情報不足	要保護
キノクニベニシダ	オシダ							
エンシュウベニシダ	オシダ						絶滅危惧IB類	要保護
ハスノハカズラ	ツヅラフジ							
ワタラセツリフネソウ	ツリフネソウ						絶滅危惧IB類	
オオアカバナ	アカバナ	絶滅危惧II類(VU)			絶滅危惧II類			
ホソバアカバナ	アカバナ					絶滅危惧II類	絶滅危惧IB類	
ミヤマヤブニンジン	セリ							
ヒメシロアサザ	ミツガシワ	絶滅危惧II類(VU)				絶滅危惧II類	絶滅危惧IB類	最重要保護
コナミキ	シソ	絶滅危惧II類(VU)					情報不足	消息不明・絶滅
ヒシモドキ	ゴマ	絶滅危惧I B類(EN)				絶滅		野生絶滅
キヨスミウツボ	ハマウツボ				準絶滅危惧		絶滅危惧IB類	消息不明・絶滅
ソナレマツムシソウ	キク	絶滅危惧II類(VU)						
ツツイトモ	ヒルムシロ	絶滅危惧II類(VU)				絶滅危惧II類		最重要保護
ネジリカワツルモ	ヒルムシロ	準絶滅危惧(NT)						
ヒロハノアマナ	ユリ	絶滅危惧II類(VU)				絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類	要保護
ベンケイヤワラスゲ	カヤツリグサ							
クロヒナスゲ	カヤツリグサ					要注意		
チャボイ	カヤツリグサ	絶滅危惧II類(VU)						
サガミランモドキ	ラン	絶滅危惧I B類(EN)					情報不足	
タシロラン	ラン	準絶滅危惧(NT)				準絶滅危惧	情報不足	要保護
クロヤツシロラン	ラン					準絶滅危惧		要保護

情報不足②現状不明種 65種

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
タチクラマゴケ	イワヒバ						絶滅危惧 II類	
ヒメミズニラ	ミズニラ		準絶滅危惧 (NT)		絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類		
ミズニラモドキ	ミズニラ		絶滅危惧 II類 (VU)		未評価	情報不足		
シナミズニラ	ミズニラ		絶滅危惧 II類 (VU)					
オオバシナミズニラ	ミズニラ		絶滅危惧 I B類 (EN)					
コハチジョウシダ	イノモトソウ							要保護
クロベ	ヒノキ			絶滅種				
アベマキ	ブナ				希少			
マツグミ	ヤドリギ					準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	重要保護
ヒメタデ	タデ		絶滅危惧 II類 (VU)			絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IB類	要保護
マダイオウ	タデ				未評価	絶滅危惧 II類		
センウズモドキ	キンポウゲ		絶滅危惧 II類 (VU)	希少種	未評価			
ヒロハノカワラサイコ	バラ		絶滅危惧 II類 (VU)			絶滅危惧 II類		一般保護
ミチノクナシ	バラ		絶滅危惧 I B類 (EN)					
モメンヅル	マメ				絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I類	絶滅	
ヒメミヤマスミレ	スミレ						絶滅危惧 IB類	
ミヤマニガウリ	ウリ							
オグラノフサモ	アリノトウグサ		絶滅危惧 II類 (VU)					
ムラサキセンブリ	リンドウ		準絶滅危惧 (NT)		未評価	絶滅危惧 I類	絶滅	最重要保護
イワダレソウ	クマツヅラ			絶滅種				一般保護
ムシャリンドウ	シソ		絶滅危惧 II類 (VU)	危急種	準絶滅危惧	絶滅		消息不明・絶滅
エゾニガクサ	シソ		絶滅危惧 I B類 (EN)					
スズメハコベ	ゴマノハグサ		絶滅危惧 II類 (VU)		未評価	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 IA類	
ノタヌキモ	タヌキモ		絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧種		絶滅	絶滅	重要保護
コタヌキモ	タヌキモ					情報不足	絶滅	
ヒメタヌキモ	タヌキモ		準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧種	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I類		消息不明・絶滅
タヌキモ	タヌキモ		準絶滅危惧 (NT)	危急種	絶滅危惧 II類	情報不足	絶滅危惧 IA類	重要保護
エゾオオバコ	オオバコ			絶滅危惧種	準絶滅危惧			
イソギク	キク			絶滅種				一般保護
オナモミ	キク		絶滅危惧 II類 (VU)			絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類	
コスブタ	トチカガミ			絶滅危惧種				
ミズヒキモ	ヒルムシロ				絶滅危惧 II類			重要保護
ヒロハノエビモ	ヒルムシロ				絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類		野生絶滅
コアマモ	アマモ			危急種	絶滅危惧 I類			一般保護
コキンバイザサ	キンバイザサ			危急種		絶滅		重要保護
イチハツ	アヤメ			危急種				
ヒナノシャクジョウ	ヒナノシャクジョウ			絶滅危惧種				最重要保護
サイコクヌカボシ	イグサ							
クロイヌノヒゲモドキ	ホシクサ		絶滅危惧 II類 (VU)		未評価	絶滅危惧 II類		
ツクシクロイヌノヒゲ	ホシクサ		絶滅危惧 II類 (VU)					
ヒメアブラススキ	イネ			危急種		準絶滅危惧	準絶滅危惧	一般保護
ミズタカモジ	イネ		絶滅危惧 II類 (VU)		未評価	準絶滅危惧	絶滅危惧 IB類	
コゴメカゼクサ	イネ			希少種		絶滅		最重要保護
ミノボロ	イネ					絶滅		要保護

和名	科名	選定理由	環境省 2012	茨城県 1997	福島県 2002	栃木県 2011	埼玉県 2011	千葉県 2009
アワガエリ	イネ			希少種				
スズメノカタビラ	イネ				準絶滅危惧			
タイワンスゲ	カヤツリグサ		絶滅危惧 II 類 (VU)			絶滅危惧 II 類		
オオタマツリスゲ	カヤツリグサ				絶滅危惧 II 類			
スナジスゲ	カヤツリグサ							
アブラシバ	カヤツリグサ				準絶滅危惧			重要保護
チュウゼンジスゲ	カヤツリグサ			希少種	準絶滅危惧			一般保護
ニイガタガヤツリ	カヤツリグサ		絶滅危惧 I A 類 (CR)	危急種				重要保護
ツクシオオガヤツリ	カヤツリグサ		絶滅危惧 I B 類 (EN)	危急種				消息不明・絶滅
スジヌマハリイ	カヤツリグサ		絶滅危惧 II 類 (VU)		絶滅危惧 II 類		絶滅危惧 IA 類	一般保護
ヒメマツカサススキ	カヤツリグサ		絶滅危惧 II 類 (VU)					
ミカワシンジュガヤ	カヤツリグサ		絶滅危惧 II 類 (VU)	危急種				最重要保護
イチヨウラン	ラン			絶滅危惧種	絶滅危惧 I 類	準絶滅危惧	絶滅危惧 IB 類	
エゾスズラン	ラン			絶滅危惧種			絶滅危惧 II 類	
アキザキヤツシロラン	ラン			絶滅危惧種			絶滅危惧 IB 類	重要保護
シュスラン	ラン					絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 IA 類	要保護
セイタカスズムシソウ	ラン			絶滅危惧種	絶滅危惧 I 類	絶滅危惧 II 類		
タンザワサカネラン	ラン		絶滅危惧 I B 類 (EN)					
イイスマムカゴ	ラン		絶滅危惧 I B 類 (EN)			情報不足	絶滅	
ナガバキソチドリ	ラン							
コバノトンボソウ	ラン			危急種				重要保護

選 定 種 の 解 説

- ・各種類についてはカテゴリー別に記載した。
- ・科名および科の配列は原則として植物目録 1987（環境庁自然保護局編）に従った。
- ・和名および学名は原則として米倉浩司・梶田忠（2003-）「BG Plants 和名－学名インデックス（YList）」、http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.html に従った。その配列は学名のアルファベット順とした。
- ・茨城県、環境省のカテゴリーはそれぞれのレッドリストに従った。
- ・分布については原則として以下の文献より引用した。
 - 佐竹義輔他（編）日本の野生植物 草本ⅠⅡⅢ 木本ⅠⅡ 平凡社
 - 岩槻邦男（編）日本の野生植物 シダ 平凡社
- ・日本固有種については加藤雅啓・海老原淳 2011 日本の固有植物（国立科学博物館叢書 11）東海大学出版会に従った
- ・生育地は県内の生育地および分布状況を記述した。
- ・選定理由は選定理由一覧（p.12 参照）の省略形で示した。
- ・その他は分布状況の補足説明などを示した。
- ・写真については生育地、撮影者名を示した。
- ・標本写真については収蔵場所または所蔵者名を示した。
- ・引用文献については文献一覧（p.255～257）の番号を（ ）に示した。

絶滅

ヤチスギラン

Lycopodium inundatum L.

ヒカゲノカズラ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（近畿地方以北）・北海道／北半球の温帶

生 育 地 湿原に生える。高萩市（115）に記録がある。

選定理由

その他の

ハマホラシノブ

Sphenomeris biflora (Kaulf.) Tagawa

ホングウシダ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012

分 布 本州（関東地方南部・伊豆諸島・伊豆半島・紀伊半島）・四国（南部）・九州・琉球・小笠原／中国大陸（南部）・台湾・マリアナ諸島・フィリピン（北部）

生 育 地 海浜の比較的日当たりのよい地上や岩隙に生える。日立市（115）に記録がある。

選定理由

その他の

オニイノデ

Polystichum rigens Tagawa

オシダ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州（茨城県以西）／中国

生 育 地 山地の樹林下に生える。真弓山（115）に記録がある。

選定理由

その他の



常陸太田市（内山）

絶滅

絶滅危惧IA類

絶滅危惧II類

準絶滅危惧

情報
①不足
目種情報
②現状不明
種

ホザキヤドリギ

Loranthus tanakae Franch. et Sav.

ヤドリギ

茨城県2012 絶滅

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（東北地方・中部地方中北部）／朝鮮・中国北部

生 育 地 ミズナラ、クリ、ハンノキなどの落葉広葉樹に半寄生する。高萩市（89）に記録がある。

選定理由

その他の

イトハコベ

Stellaria filicaulis Makino

ナデシコ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（関東以北）／朝鮮・中国（東北）・モンゴル

生 育 地 低地の湿地に生える。行方市（115）、潮来市（115）、取手市（115）に記録がある。

選定理由

その他の

リュウキンカ

Caltha palustris L. var. *nipponica* H.Hara

キンポウゲ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 危急種

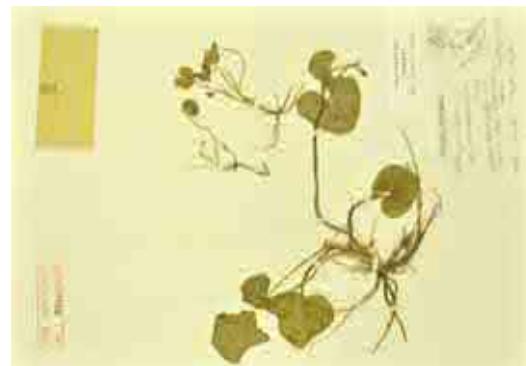
環境省2012

分 布 本州・九州／朝鮮

生 育 地 浅い水中や湿地に生える。北茨城市（24）に記録がある。

選定理由

その他の



（県博収蔵標本：北茨城市産）

ムジナモ

Aldrovanda vesiculosa L.

モウセンゴケ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 絶滅危惧 IA類 (CR)

分 布 本州／朝鮮・中国（東北）・インド・ヨーロッパ・アフリカ・オーストラリア

生 育 地 浅い水中に生える。全国的に見ても野生絶滅に近い状態である。霞ヶ浦（115）、筑西市（115）、常総市（115）に記録がある。

選定理由

その他の



（常総市：県博収蔵標本）

マルバシモツケ

Spiraea betulifolia Pall. var. *betulifolia*

バラ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 北海道・本州（中北部）／東シベリア・樺太・千島

生 育 地 山地の草原に生える。八溝山（115）に記録がある。

選定理由

その他の



（県博収蔵標本：八溝山産）

センダイハギ

Thermopsis lupinoides (L.) Link

マメ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012

分 布 北海道・本州（中部以北）／朝鮮・中国・ソ連極東地方・北アメリカ北部

生 育 地 海岸の砂浜に生える。高萩市（55）に記録がある。

選定理由

その他の

ハマビシ

Tribulus terrestris L.

ハマビシ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 絶滅危惧 IB類 (EN)

分 布 本州（千葉県及び福井県以西）・四国・九州
／世界の熱帯～暖帯の海岸や内陸の乾燥地

生 育 地 海岸の砂浜に生える。大洗町（115）、鹿嶋市
(115) に記録がある。

選 定 理 由

そ の 他

ツクバトウキ

Angelica acutiloba (Siebold et Zucc.) Kitag. f. *tsukubana* Hikino

セリ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 本州（茨城県筑波山）

生 育 地 山中に生える。筑波山（13）に記録がある。

選 定 理 由

そ の 他 トウキの品種。筑波山で発見命名された植物
である。

ハイハマボッス

Samolus parviflorus Raf.

サクラソウ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道・本州／北アメリカ

生 育 地 海岸近くの湿地にまれに生える。県北部の海
岸（24）に記録がある。

選 定 理 由

そ の 他

絶
滅

絶滅危惧
IA類

絶滅危惧
IB類

絶滅危惧
II類

準絶滅危惧

情報
①不足
目種

情報
②現状
不足
不明種

オオアオカモメヅル（ツクバカモメヅル）

Vincetoxicum nipponicum (Matsum.) Kitag.

ガガイモ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（中北部）

生 育 地 草地に生える。筑波山（63）と佐白山（72）に記録がある。

選定理由

そ の 他 筑波山で発見命名された植物である。



(県博収蔵標本：笠間市産)

ヤブムグラ

Galium niewerthii Franch. et Sav.

アカネ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州（東京都・千葉県・神奈川県など関東地方南部）[日本固有種]

生 育 地 丘陵地に生える。神栖市（115）に記録がある。

選定理由

そ の 他

タチコゴメグサ

Euphrasia maximowiczii Wettst.

ゴマノハグサ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 希少種

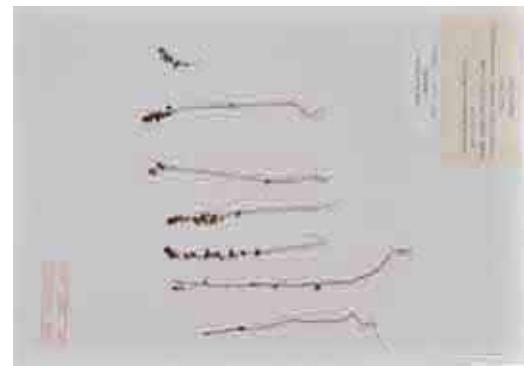
環境省2012

分 布 本州（中国地方西部・近畿地方～東北地方南部）・四国（西部）・九州（中北部）

生 育 地 日当たりのよい高原の草地に生える。三鈴室山（115）、八溝山（128）に記録がある。

選定理由

そ の 他



(県博収蔵標本：高萩市産)

ヒメトラノオ

Pseudolysimachion rotundum (Nakai) Holub var. *petiolatum* (Nakai) T.Yamaz.

ゴマノハグサ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（中部地方・関東地方）[日本固有種]

生 育 地 湿地に生える。水戸市(127), つくば市(115), 鷄足山(72)に記録がある。

選定理由

その他の



(県博収蔵標本：鷄足山産)

ツクバウグイスカグラ

Lonicera tenuipes Nakai var. *tsukubana* Satake (100)

スイカズラ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012

分 布 本州（茨城県筑波山）

生 育 地 樹林下に生える。筑波山(100)で発見命名された。

選定理由

その他の



筑波山産栽培（福田）

ホロマンノコギリソウ（キタノコギリソウ）

Achillea alpina L. var. *angustifolia* (H.Hara) Kitam.

キク科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

分 布 南千島・北海道・本州（中部以北）／樺太

生 育 地 日当たりのよい草地に生える。ひたちなか市(130)に記録がある。

選定理由

その他の

マルバオモダカ

Caldesia parnassiifolia (Bass. ex L.) Parl.

オモダカ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州・四国・九州・奄美／中国・インド・オーストラリア・マダガスカル

生 育 地 水中に生える。坂東市(94)に記録がある。

選定理由

その他の

シバナ

Triglochin asiatica (Kitag.) A. et D. Love

ホロムイソウ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道・本州・四国・九州／北半球の温帯

生 育 地 河口や干潟の縁の塩分を含む湿地に生える。大洗町(94)に記録がある。

選定理由

その他の

エゾヤナギモ

Potamogeton compressus L.

ヒルムシロ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 北海道・本州(中部以北)／北半球

生 育 地 水中に生える。石岡市(94)に記録がある。

選定理由

その他の

ガシャモク

Potamogeton dentatus Hagstr.

ヒルムシロ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 絶滅危惧 IA類 (CR)

分 布 本州(関東地方・近畿地方)／中国(山東省)

生 育 地 水中に生える。霞ヶ浦(98)に記録がある。

選 定 理 由

そ の 他

コシガヤホシクサ

Eriocaulon heleocharioides Satake

ホシクサ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 野生絶滅 (EW)

分 布 本州(埼玉県・茨城県) [日本固有種]

生 育 地 河川や溜池に生える。下妻市砂沼(115)に記録がある。

選 定 理 由

そ の 他 現在野生復帰を目指したプロジェクトが進行中である。



下妻市(内山)

ヒンジモ

Lemna trisulca L.

ウキクサ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 北海道・本州・四国／南アメリカ以外の各地

生 育 地 植物体は水中に浮き、薄く、細くて長い柄で連なり、多数集まって群体をつくるが、花期には花をつけた3～数個が群体となって、水上に現れる。霞ヶ浦(24)に記録がある。

選 定 理 由

そ の 他

トダスゲ

Carex aequialta Kuk.

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 絶滅危惧 IA類 (CR)

分 布 本州（関東地方と名古屋付近）・九州（北部）
／中国（中部）

生 育 地 川岸の草地などに生える。筑波山（115）に記録がある。

選 定 理 由

そ の 他

ヒエスゲ

Carex longirostrata C.A.Mey.

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 北海道・本州（中北部）／樺太・千島・朝鮮
～シベリア東部

生 育 地 山地草原に生える。水戸市（115）に記録がある。

選 定 理 由

そ の 他

エゾサワスゲ

Carex viridula Michx.

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道・本州（中北部）／東アジア北部・北アメリカ

生 育 地 湿地にややまれに生える。高萩市（115）に記録がある。

選 定 理 由

そ の 他

カガシラ

Scleria caricina (R.Br.) Benth.

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州（千葉県以西）・四国・九州・琉球／台湾・インド・マレーシア・オーストラリア

生 育 地 湿地にややまれに生える。つくば市（24）に記録がある。

選定理由

そ の 他 つくば市の生育地はマツ林に囲まれた広大な湿原であったが、工業団地の造成で埋められ絶滅した。

アツモリソウ

Cypripedium macranthos Sw. var. *speciosum* (Rolfe) Koidz.

ラン科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 南千島・北海道・本州（中部以北）／アジア北東部～ヨーロッパ東部

生 育 地 山地の草原か疎林内に生える。北茨城市（115）、筑波山（115）、城里町（115）に記録がある。

選定理由

そ の 他



(県博収蔵標本：北茨城市産)

ノビネチドリ

Gymnadenia camtschatica (Cham.) Miyabe et Kudo

ラン科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 北海道・本州（中北部）・四国・九州／樺太・カムチャツカ・朝鮮

生 育 地 山地の樹林下の湿ったところに生える。八溝山（115）に記録がある。

選定理由

そ の 他



(県博収蔵標本：八溝山産)

ヒメフタバラン

Listera japonica Blume

ラン科

茨城県2012 絶滅

茨城県1997 絶滅種

環境省2012

分 布 本州（宮城県・山形県以南）・四国・九州・琉球

生 育 地 山地の樹林下に生える。鹿嶋市（65）に記録がある。

選 定 理 由

そ の 他

絶
滅

絶滅危惧 I A類

絶滅危惧 I B類

絶滅危惧 II 類

準絶滅危惧

情報不足
①注目種

情報不足
②現状不明種

絶滅危惧ⅠA類

マツバラン

Psilotum nudum (L.) P.Beauv.

マツバラン科

茨城県2012 絶滅危惧ⅠA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 準絶滅危惧(NT)

分 布 本州（宮城県・石川県以西）・四国・九州・琉球／朝鮮（済州島）・中国（南部）・世界の熱帯・亜熱帯

生 育 地 樹幹に着生したり、岩隙に生えたりする。神栖市の海岸クロマツ林などに生育する。北茨城市にも生育していた。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（安）

スギラン

Huperzia cryptomerina (Maxim.) Dixit

ヒカゲノカズラ科

茨城県2012 絶滅危惧ⅠA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧Ⅱ類(VU)

分 布 北海道・本州・四国・九州／世界各地

生 育 地 山林中の樹上や岩上に着生する。八溝山、北茨城市、筑波山などに生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

アスピカズラ

Lycopodium complanatum L.

ヒカゲノカズラ科

茨城県2012 絶滅危惧ⅠA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 北海道・本州（中部地方以北・滋賀県・兵庫県・鳥取県）・四国（徳島県）／北半球の温帯

生 育 地 日当たりのよい山地に生え、匍匐茎は地中または地上を長くはう。北茨城市、常陸太田市、常陸大桑町のヒノキ林下などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（内山）

キヨスミコケシノブ

Hymenophyllum oligosorum Makino

コケシノブ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・九州／朝鮮・台湾

生 育 地 暖地の林中に生じる。樹幹上、まれに岩上に生え、根茎は長く横走し、しばしばマット状となる。北茨城市的山地に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

ヌリトラノオ

Asplenium normale D.Don

チャセンシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（茨城県・伊豆諸島・伊豆半島以西）・四国・九州・琉球／ヒマラヤ・ボリネシア

生 育 地 山林中のやや湿った岩上か、まれにやや乾いた地上に生じる。城里町に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



城里町（内山）

オクタマシダ

Asplenium pseudowilfordii Tagawa

チャセンシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（福島県以南）・四国（南部）・九州（宮崎県）

生 育 地 山林中の陰地で岩上や樹幹に着生する。大子町、常陸太田市、常陸大宮市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸大宮市（内山）

ヒメサジラン

Loxogramme grammitoides (Baker) C.Chr.

ウラボシ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997

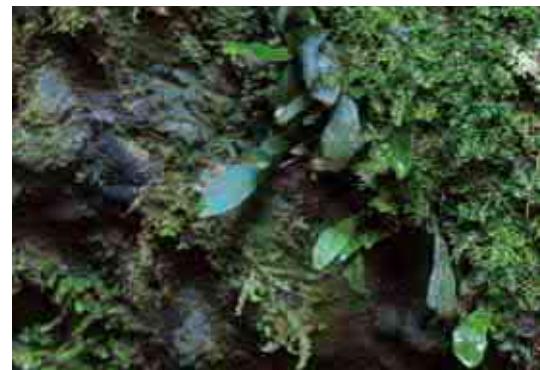
環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州・屋久島
／朝鮮・台湾・中国

生 育 地 深山の林中の陰湿な場所で岩上のコケに混じって生える。常陸太田市、常陸大宮市に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（内山）

イワオモダカ

Pyrrosia hastata (Houtt.) Ching

ウラボシ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮（南部）

生 育 地 深山の林中で岩上や樹幹に着生する。久慈山地などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、園芸採取、森林の伐採

そ の 他



大子町（藤田）

ヒトツバ

Pyrrosia lingua (Thunb.) Farw.

ウラボシ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州・琉球／朝鮮（南部）・中国（揚子江以南）・台湾～インドシナ

生 育 地 やや乾燥した岩上や樹幹に着生する。城里町、笠間市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



佐白山（内山）

オオクボシダ

Micropolypodium okuboi (Yatabe) Hayata

ヒメウラボシ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州／台湾・中国（海南島）

生 育 地 山地の樹幹や岩上にコケに混じって生える。多賀山地の渓谷や筑波山に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



筑波山（内山）

デンジソウ

Marsilea quadrifolia L.

デンジソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 北海道・本州・四国・九州・奄美／ヨーロッパ・インド（北部）～東アジア

生 育 地 水田や池沼などの泥にしばしば群生する。常陸太田市などで生育が確認されている。

選 定 理 由 農地の改修、農薬の使用、遷移の進行

そ の 他



常陸太田市（内山）

オオアカウキクサ

Azolla japonica (Franch. et Sav.) Franch. et Sav. ex Nakai

アカウキクサ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 IB類 (EN)

分 布 本州・四国（東部）・九州 [日本固有種]

生 育 地 水田や湖沼に生える。東海村、大子町などで生育が確認されている。

選 定 理 由 外来種との競合、農地の改修、農薬の使用

そ の 他 最近、急速に特定外来生物に指定されているアゾラ・クリスターに置き換わっている。この種はアイガモ農法の餌として導入されたといわれている。



東海村（内山）

オキナグサ

Pulsatilla cernua (Thunb.) Bercht. et C.Presl

キンポウゲ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州・四国・九州／朝鮮・中国

生 育 地 日当たりのよい草原に生える。常陸大宮市、日立市、笠間市、神栖市に生育する。

選 定 理 由 園芸採取、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



(県博収蔵標本：高萩市)

バイカモ

Ranunculus nipponicus Nakai var. *submersus* H.Hara

キンポウゲ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 北海道・本州 [日本固有種]

生 育 地 浅くてきれいな流水中に生える。北茨城市、大子町に生育する。

選 定 理 由 河川の改修、水質の汚濁

そ の 他



大子町（内山）

ヒメバイカモ

Ranunculus trichophyllus Chaix var. *kazusensis* (Makino) Wieglob

キンポウゲ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 I B 類 (EN)

分 布 北海道・本州・九州／朝鮮

生 育 地 水中に生える。常陸太田市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、溜池の埋立、水質の汚濁

そ の 他



常陸太田市（内山）

オニバス

Euryale ferox Salisb.

スイレン科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（宮城県以南）・四国・九州

生 育 地 低地の富栄養の池沼に生える。坂東市などにわずかに生育するのみで野生絶滅に近い状態である。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湖岸の埋立

そ の 他 以前は霞ヶ浦（97）、牛久沼（97）、水戸市（97）などに多数生育した。



坂東市（内山）

アゼオトギリ

Hypericum oliganthum Franch. et Sav.

オトギリソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 IB類 (EN)

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州／朝鮮南部

生 育 地 田の畦や河川敷などの湿地に生える。常総市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、河川の改修

そ の 他



つくばみらい市（高田）

ナガバノイシモチソウ

Drosera indica L.

モウセンゴケ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 北海道・本州（中部）・九州／中国・台湾・マレーシア・インド・オーストラリア・アフリカ

生 育 地 貧栄養の湿原かよく管理された湿地に生える。桜川市、神栖市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他 本県産のものは白花品である。



つくば市（内山）

イシモチソウ

Drosera peltata Thunb. var. *nipponica* (Masam.) Ohwi

モウセンゴケ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州・琉球（西表島）／朝鮮・中国・台湾

生 育 地 酸性の湿地に生える。神栖市に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



(県博収蔵標本：神栖市産)

ハナハタザオ

Dontostemon dentatus (Bunge) Ledeb.

アブラナ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 IA類 (CR)

分 布 本州（中部地方・東北地方南部）／シベリア東部・アムール・ウスリー・中国・朝鮮

生 育 地 山地や海浜の明るい砂地に生える。ひたちなか市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、海岸の開発

そ の 他 日立市（115）、東海村（115）の海岸に生育の記録があるが、絶滅したと思われる。



ひたちなか市（内山）

アオノイワレンゲ

Orostachys malacophylla (Pall.) Fisch. var. *aggregata* (Makino) H.Ohba

ベンケイソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州（東北地方）・九州（北部）／朝鮮・中国（東北部）・ウスリー・樺太

生 育 地 海岸やまれに山地の日当たりのよい岩上に生える。久慈山地などに生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、園芸採取

そ の 他



常陸太田市（内山）

イワレンゲ

Orostachys malacophylla (Pall.) Fisch. var. *iwarenge* (Makino) H.Ohba

ベンケイソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（関東地方以西）・九州 [日本固有種]

生 育 地 海岸の岩上や茅葺き屋根などに生える。県中央部海岸近くの崖に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、園芸採取

そ の 他



ひたちなか市（内山）

ギンバイソウ

Deinanthe bifida Maxim.

ユキノシタ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（中部地方・滋賀県伊吹山）[日本固有種]

生 育 地 樹林におおわれた沢沿いの斜面などに生える。北茨城市、八溝山、御前山などに生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



御前山（内山）

ヤワタソウ

Peltoboykinia tellimoides (Maxim.) H.Hara

ユキノシタ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（中部以北）

生 育 地 谷沿いの陰湿な斜面などに生える。大子町に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町産栽培（内山）

ヤシャビシャク

Ribes ambiguum Maxim.

ユキノシタ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州・四国・九州／中国大陸西部

生 育 地 よく発達した温帯林の老木上に着生するが少ない。県北山地のブナなどの大木などに見られる。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

ホシザキユキノシタ

Saxifraga stolonifera Curtis f. *aptera* (Makino) H.Hara

ユキノシタ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（茨城県筑波山）

生 育 地 筑波山にのみ生育する。最初は女体山頂で発見されたが、現在は男体山頂に生育するのみである。

選 定 理 由 生育地点が少ない

そ の 他 ユキノシタの花弁が小さく退化した品種(61)。



筑波山（内山）

イワシモツケ

Spiraea nipponica Maxim. var. *nipponica*

バラ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（東北地方）[日本固有種]

生 育 地 岩礫地、石灰岩上に生える。久慈山地に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸大宮市（内山）

コキンバイ

Waldsteinia ternata (Stephan) Fritsch

バラ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州（中北部）／朝鮮・樺太・中国（東北部）・ウスリー・アムール・シベリア東部

生 育 地 山地の林下に生える。常陸太田市、高萩市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（内山）

ミヤマトベラ

Euchresta japonica Hook.f. ex Maxim.

マメ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西の太平洋側）・四国・九州／朝鮮（済州島）・中国（広東省・広西省）

生 育 地 常緑広葉樹林内に生育する。西金砂山、仏頂山に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（内山）

コミヤマカタバミ

Oxalis acetosella L.

カタバミ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／北半球の温帯～亞寒帶

生 育 地 主として亞高山帯の針葉樹林下に群生する。北茨城市的山地の溪流に沿った林内の湿潤な場所に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

マツバニンジン

Linum stelleroides Planch.

アマ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 I A 類 (CR)

分 布 北海道・本州・四国・九州／東アジア

生 育 地 日当たりのよい草地に生える。高鈴山、筑西市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



日立市（内山）

センダイタイゲキ

Euphorbia sendaica Makino

トウダイグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 絶滅種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州（関東地方以北） [日本固有種]

生 育 地 林縁のやや明るい湿った土地を好む。阿見町、牛久市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない

そ の 他



阿見町（小幡）

ヒツバハギ

Flueggea suffruticosa (Pall.) Baill.

トウダイグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（中部地方以西）・四国・九州／朝鮮・中国・東シベリア～ヒマラヤ

生 育 地 丘陵地の土手や疎林に生える。筑西市、水戸市に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、河川の改修

そ の 他 水戸市の生育地は絶滅した。



水戸市（内山）

ヒナノキンチャク

Polygala tatarinowii Regel

ヒメハギ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 IB類 (EN)

分 布 本州・四国・九州／朝鮮・中国・フィリピン・東南アジア・インド・シベリア東部

生 育 地 原野や山麓に生える。日立市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



日立市（内山）

ヒナノカンザシ

Salomonia ciliata (L.) DC.

ヒメハギ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

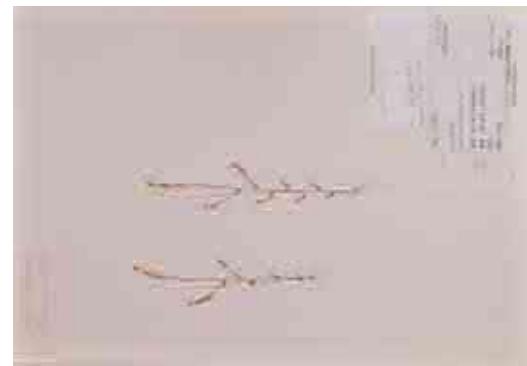
環境省2012

分 布 本州・四国・九州／朝鮮（南部）・台湾・フィリピン・マレーシア・インド・オーストラリア

生 育 地 日当たりのよい湿地に生える。日立市、水戸市、笠間市、桜川市などに生育する。

選 定 理 由 個体数が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



（県博収蔵標本：笠間市産）

クロカカンバ

Rhamnus costata Maxim.

クロウメモドキ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 山地の岩場などに生える。北茨城市に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

クロツバラ

Rhamnus davurica Pall. var. *nipponica* Makino

クロウメモドキ科

茨城県2012 絶滅危惧Ⅰ A類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（中北部）／シベリア東部・ダフリア・中国（北部・東北部）

生 育 地 山地や高原などに生える。県内では坂東市の湿地に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



(県博収蔵標本：坂東市産)

タチスミレ

Viola raddeana Regel

スミレ科

茨城県2012 絶滅危惧Ⅰ A類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

分 布 本州（関東地方）・九州／朝鮮・中国（東北部）・アムール

生 育 地 河川敷などの低湿地のヨシ・オギ群落や河畔林の林縁などに生える。坂東市、常総市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、河川の改修、遷移の進行

そ の 他



坂東市（内山）

ヒメビシ

Trapa incisa Siebold et Zucc.

ヒシ科

茨城県2012 絶滅危惧Ⅰ A類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

分 布 北海道・本州・四国・九州／ウスリー・中国（東北部）・台湾・朝鮮

生 育 地 池に生える。水戸市、つくば市、竜ヶ崎市、稻敷市、下妻市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湖岸の埋立

そ の 他



(県博収蔵標本：水戸市産)

ヤマトグサ

Theligonum japonicum Okubo et Makino

ヤマトグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 山中の林下に生える。筑波山に生育する。

選定理由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他 筑波山は牧野富太郎による第二の発見地である（60）。西金砂山では絶滅した。



筑波山（内山）

トウキ

Angelica acutiloba (Siebold et Zucc.) Kitag.

セリ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（中北部） [日本固有種]

生 育 地 山中の溪流の岩上で水をかぶることが多いところなどに生える。高萩市、大子町に生育する。

選定理由 生育地点が少ない、河川の改修

そ の 他



大子町（内山）

ミヤマニンジン

Ostericum florentii (Franch. et Sav. ex Maxim.) Kitag.

セリ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（関東地方・中部地方） [日本固有種]

生 育 地 山中に生える。八溝山に生育する。

選定理由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



(中崎収蔵標本：八溝山産)

シムラニンジン

Pterygopleurum neurophyllum (Maxim.) Kitag.

セリ科

茨城県2012 絶滅危惧Ⅰ A類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

分 布 本州（関東地方）・九州（北部）／朝鮮

生 育 地 河川敷のヨシ・オギ群落など湿地に生える。
常総市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、河川の改修

そ の 他



常総市（大津）

オオウメガサソウ

Chimaphila umbellata (L.) W.Barton

イチヤクソウ科

茨城県2012 絶滅危惧Ⅰ A類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道・本州（青森県・岩手県・茨城県）／ヨーロッパ・北アメリカの亜寒帯

生 育 地 海岸近くのマツ林などに生える。東海村、ひたちなか市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、海岸の開発

そ の 他



ひたちなか市（内山）

アズマシャクナゲ

Rhododendron japonicum (Blume) C.K.Schneid. var. *pentamerum* (Maxim.) Hutch.

ツツジ科

茨城県2012 絶滅危惧Ⅰ A類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 本州（宮城県・山形県～中部地方南部）〔日本固有種〕

生 育 地 山地林内や岩礫地に生える。県内では大子町、北茨城市的やや湿り気のある岩場や樹林下に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、園芸採取、森林の伐採

そ の 他 北茨城市的生育地は天然記念物として保護されている。



北茨城市（内山）

コメツツジ

Rhododendron tschonoskii Maxim.

ツツジ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997

環境省2012

分 布 南千島・北海道・本州・四国・九州／朝鮮南部

生 育 地 深山の岩地に生える。北茨城市に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

ミツガシワ

Menyanthes trifoliata L.

ミツガシワ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 南千島・北海道・本州・九州／北半球

生 育 地 高原の湿原や沼に生えるが、低地にも残存植物として所々に産する。高萩市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他 錦田市（24）、鹿嶋市（24）の産地では最近確認できない。



高萩市（内山）

ムラサキ

Lithospermum erythrorhizon Siebold et Zucc.

ムラサキ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 IB類 (EN)

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮・中国・アムール

生 育 地 丘陵の草地などにまれに生える。日立市に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



日立市（内山）

ヤマホオズキ

Physalis chamaesarachoides Makino

ナス科

茨城県2012 絶滅危惧 I A類

茨城県1997 希少種

環境省2012 絶滅危惧 I B類 (EN)

分 布 本州（関東地方南部・東海地方・紀伊半島南部）・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 山地のやや湿った林下に生える。県北山地(24)に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他

シオガマギク

Pedicularis resupinata L. subsp. *oppositifolia* (Miq.) T.Yamaz.

ゴマノハグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 北海道（中部・南部）・本州・四国・九州／朝鮮・中国（東北部）

生 育 地 山地の草地に生える。三鈷室山、八溝山、筑波山の草地に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



(県博収蔵標本：北茨城市産)

ホザキノミミカキグサ

Utricularia caerulea L.

タヌキモ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州・琉球／朝鮮・中国～インド

生 育 地 湿地に生える。笠間市、神栖市などに生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



笠間市（内山）

ムラサキミミカキグサ

Utricularia uliginosa Vahl

タヌキモ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道・本州・四国・九州・屋久島

生 育 地 湿地の主として泥上に生える。高萩市、笠間市などに生育する。

選定理由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他 かつては筑波山の中腹でも見られたが絶滅した(24)。



高萩市(内山)

マツムシソウ

Scabiosa japonica Miq.

マツムシソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 山地の草原に生える。高萩市、日立市、神栖市、笠間市などに生育する。

選定理由 草地の開発、遷移の進行

そ の 他



(県博物収蔵標本：筑波山産)

ヌマダイコン

Adenostemma lavenia (L.) Kuntze

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅種

環境省2012

分 布 本州(関東地方以南)・四国・九州・琉球／朝鮮・中国・マレーシア・オーストラリア

生 育 地 暖地のやや湿った湿地や溝に生える。鹿嶋市、神栖市、桜川市に生育する。

選定理由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



神栖市(内山)

アズマギク

Erigeron thunbergii A.Gray subsp. *thunbergii*

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（中部地方以北） [日本固有種]

生 育 地 乾いた草原に生える。高萩市、常陸大宮市、日立市、ひたちなか市、神栖市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



ひたちなか市（内山）

タカサゴソウ

Ixeris chinensis (Thunb.) Nakai subsp. *strigosa* (H.Lev. et Vaniot) Kitam.

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州・四国・九州／朝鮮

生 育 地 乾いた草原に生える。大子町、常陸太田市、常陸大宮市、筑波山、高鈴山に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他

ミコシギク

Leucanthemella linearis (Matsum.) Tzvelev

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州・九州／朝鮮・中国

生 育 地 日当たりのよい泥質の湿地に生える。笠間市、水戸市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



笠間市（内山）

クルマバハグマ

Pertya rigidula (Miq.) Makino

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 山地の明るい林床や林縁などに生える。北茨城市、高萩市、八溝山などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



(県博収蔵標本：八溝山産)

イワキハグマ

Pertya × suzukii Kitam.

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（福島県南部～茨城県北部）

生 育 地 落葉広葉樹林の林床、林縁に生育する。北茨城市、常陸太田市、大子町に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他 クルマバハグマとオヤリハグマの雑種である。



北茨城市（内山）

ヒメヒゴタイ

Saussurea pulchella (Fisch. ex Hornem.) Fisch.

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 希少種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮・中国（東北部）
樺太・シベリア東部

生 育 地 日当たりのよい草原に生える。日立市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他

コウリンカ

Tephroseris flammea (Turcz. ex DC.) Holub subsp. *glabrifolia* (Cufod.) B.Nord.

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州／朝鮮

生 育 地 日当たりのよい山地の適湿な草原に生える。
北茨城市、高萩市、常陸太田市、大子町に生育する。

選 定 理 由 草地の開発、遷移の進行

そ の 他



八溝山（中崎）

コバノヒルムシロ

Potamogeton cristatus Regel et Maack

ヒルムシロ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州／朝鮮・中国

生 育 地 池沼に生える。常陸太田市の溜池に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、溜池の埋立

そ の 他 改修工事により出現することがある。



常陸太田市（村上）

フトヒルムシロ

Potamogeton fryeri A.Benn.

ヒルムシロ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮・千島

生 育 地 池沼に生える。常陸太田市の溜池に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、溜池の埋立

そ の 他



常陸太田市（内山）

ムサシモ

Najas ancistrocarpa A.Braun ex Magnus

イバラモ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 IB類 (EN)

分 布 本州・四国

生 育 地 浅い水中に生える。下妻市に生育する。

選 定 理 由 湖岸・溜池の埋立、水質の汚濁

そ の 他



(県博収蔵標本：下妻市産)

ギョウジャニンニク

Allium victorialis L. subsp. *platyphyllum* Hulten

ユリ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州（近畿地方以北）／千島・樺太・朝鮮・中国・カムチャツカ・アムール・シベリア東部

生 育 地 深山の林下にしばしば群生する。大子町に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（内山）

ステゴビル

Calostcordum inutile (Makino) Okuyama et Kitag.

ユリ科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（茨城県・愛知県・岐阜県・京都府）[日本固有種]

生 育 地 原野に生える。大子町に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、農薬の使用

そ の 他



大子町（内山）

ヒメアマナ

Gagea japonica Pascher

ユリ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 I B類 (EN)

分 布 北海道・本州・九州 [日本固有種]

生 育 地 河川敷など湿った原野に生える。常総市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、河川の改修、遷移の進行

そ の 他



常総市（内山）

ヒナザサ

Coelachne japonica Hack.

イネ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A類

茨城県1997

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州・九州 [日本固有種]

生 育 地 湿地に生える。北茨城市、笠間市などに生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



笠間市（内山）

カリヤスモドキ

Miscanthus oligostachyus Stapf

イネ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 本州・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 山地に生える。北茨城市、八溝山に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、遷移の進行、登山者による踏みつけ

そ の 他 県内の比較的低標高の産地は貴重な生育地である。



八溝山（中崎）

マイヅルテンナンショウ

Arisaema heterophyllum Blume

サトイモ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州（岩手県～岡山県）・四国・九州／朝鮮（南部）・中国・台湾

生 育 地 河川敷など低地の草地に生える。つくば市、常総市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、河川の改修

そ の 他



常総市（内山）

カドハリイ

Eleocharis tetraquetra Nees var. *tsurumachii* (Ohwi) Ohwi

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 I A 類 (CR)

分 布 本州（茨城県霞ヶ浦）[日本固有種]

生 育 地 湿地に生える。稻敷市の霞ヶ浦湖畔のヨシ原に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他 行方市はタイプロカリティである(91)。発見地の行方市では絶滅した。



稻敷市（内山）

ヒナラン

Amitostigma gracile (Blume) Schltr.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 I B 類 (EN)

分 布 本州（茨城県北部・愛知県以西）・四国・九州／朝鮮・中国

生 育 地 樹林下の岩上などに生える。久慈山地などに生育するが、まれに低地の東海村にも生育する。

選 定 理 由 園芸採取、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（内山）

コアツモリソウ

Cypripedium debile Rchb.f.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道（西南部）・本州（中北部）・四国（高知県）・九州（熊本県）／中国

生 育 地 山地の樹林下に生える。加波山、筑波山、鍋足山の山地に生育する。

選 定 理 由 園芸採取、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（内山）

クマガイソウ

Cypripedium japonicum Thunb.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 北海道（西南部）・本州・四国・九州／朝鮮・中国

生 育 地 山地や平地の樹林下、特にスギ林、竹林下にしばしば群生する。取手市、牛久市などに生育する。

選 定 理 由 園芸採取、森林の伐採

そ の 他 県内各地に見られたが、最近は急激に減少している。



水戸市産栽培（内山）

ヒタチクマガイソウ

Cypripedium japonicum Thunb. var. *glabrum* Mas.Suzuki

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 本州（茨城県）

生 育 地 山地林下に生える。城里町、仏頂山、吾国山などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、園芸採取、森林の伐採

そ の 他 クマガイソウの花茎や茎に毛を欠く品種である（113）。



（県博収蔵標本：笠間市産）

オオミズトンボ（サフトンボ）

Habenaria linearifolia Maxim.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 I B 類 (EN)

分 布 北海道・本州（関東地方以北）／ウスリー・アムール・中国（東北部）

生 育 地 日当たりのよい湿原に生える。北茨城市、日立市、笠間市などに生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他

スズムシソウ

Liparis makinoana Schltr.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮

生 育 地 山地の樹林下に生える。大子町、常陸太田市に生育する。

選 定 理 由 園芸採取、森林の伐採

そ の 他



(県博収蔵標本：竜神峡産)

フウラン

Neofinetia falcata (Thunb.) Hu

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I A 類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州（関東地方南部以西）・四国・九州・琉球／朝鮮・中国

生 育 地 常緑樹林内の樹幹や岩石上に着生する。鹿嶋市や神栖市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、園芸採取、森林の伐採

そ の 他



神栖市（内山）

サギソウ

Pecteilis radiata (Thunb.) Raf.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州・四国・九州／朝鮮・台湾

生 育 地 低地の湿地に生育する。高萩市などに生育する。

選 定 理 由 園芸採取、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



高萩市（内山）

ウチョウラン

Ponerorchis graminifolia Rehb.f.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 IA類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州／朝鮮

生 育 地 山地の湿った岩壁などに生える。大子町、常陸大宮市、常陸太田市、筑波山などに生育する。

選 定 理 由 園芸採取

そ の 他



常陸太田市（内山）

絶滅

絶滅危惧 IA類

絶滅危惧 IB類

絶滅危惧 II類

準絶滅危惧

情報不足
①不注目種

情報不足
②現状不明種

絶滅危惧 I B類

トネハナヤスリ

Ophioglossum namegatae M.Nishida et Kurita

ハナヤスリ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州（関東地方の利根川流域） [日本固有種]

生 育 地 沼澤原に生える。取手市の利根川や常総市の小貝川の河川敷などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、河川の改修

そ の 他 取手市利根川河川敷などで発見されたのでトネハナヤスリの名がついた。



坂東市（内山）

カラクサシダ

Pleurosoriopsis makinoi (Maxim. ex Makino) Fomin

ミズワラビ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州（最南部を除く）
／シベリア東部・中国・朝鮮

生 育 地 深山の岩上や樹幹に着き、湿ったコケに埋
まって生える。北茨城市、常陸太田市、筑波山、
加波山などに生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



筑波山（内山）

シシラン

Haplopteris flexuosa (Fee) E.H.Crane

シシラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州・琉球／朝鮮・
中国・ヒマラヤからマレーシア

生 育 地 山林中の岩上や樹幹に着生する。御前山、常
陸大宮市、大子町に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸大宮市（内山）

アマクサシダ

Pteris dispar Kunze

イノモトソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西・ただし日本海側にはない）・四国・九州・琉球／朝鮮・台湾・中国

生 育 地 暖地の山麓にかけて生える。つくば市、かすみがうら市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常総市（内山）

ナンタイシダ

Athyriorumohra maximowiczii (Baker) Sugim.

オシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（東北地方南部から近畿地方）／朝鮮（済州島）

生 育 地 温帯林の林下に生える。県内では、筑波山が唯一の生育地である。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



筑波山（中崎）

メヤブソテツ

Cyrtomium caryotideum (Wall. ex Hook. et Grev.) C.Presl

オシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（関東地方・中部地方南東部・紀伊半島）・四国・九州／ヒマラヤから台湾にかけての各地・フィリピン・ハワイ

生 育 地 山地に生じ、石灰岩地での土のたまたた岩隙などに生える。常陸太田市や常陸大宮市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（藤田）

サイゴクベニシダ

Dryopteris championii (Benth.) C.Chr. ex Ching

オシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（宮城県・新潟県と関東地方以西）・四国・九州（最南部を除く）／朝鮮・中国

生 育 地 低山地の林下のやや乾いた斜面や山麓、村落に生える。常陸大宮市、笠間市、行方市、潮来市、水戸市、石岡市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸大宮市（内山）

シラネワラビ

Dryopteris expansa (C.Presl) Fraser-Jenk. et Jermy subsp. *assimilis* (S.Walker) Tzvelev

オシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／北半球の温帶

生 育 地 温帯林の林下に生える。北茨城市、大子町などにまれに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

キヨズミオオクジャク

Dryopteris namegatae (Sa.Kurata) Sa.Kurata

オシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州／中国（四川省）

生 育 地 山地の林中に生える。笠間市、石岡市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



(県博収蔵標本：笠間市産)

ナガバノイタチシダ

Dryopteris sparsa (Buch.-Ham. ex D.Don) Kuntze

オシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（千葉県南部以南）・四国・九州・琉球
／台湾・中国・インドからマレーシア

生 育 地 低山地の林下に生える。桜川市、笠間市、石岡市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



石岡市（内山）

ホソイノデ

Polystichum braunii (Spenn.) Fee

オシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州（中部以北・鳥取県・山口県）
／朝鮮・中国・ソビエト・ヨーロッパ・北アメリカ・北半球の温帯

生 育 地 温帯林の林下に生える。水戸市や大子町などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（中崎）

チャボイノデ

Polystichum igaense Tagawa

オシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（関東から近畿地方）・四国・九州（宮崎県）
[日本固有種]

生 育 地 山地の林床に生える。大子町に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（中崎）

カタイノデ

Polystichum makinoi (Tagawa) Tagawa

オシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州（宮崎県）

生 育 地 山地の林下に生える。大子町に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（中崎）

サイゴクイノデ

Polystichum pseudomakinoi Tagawa

オシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（関東地方・能登半島）・四国・九州／中国

生 育 地 山地の林下に生える。大子町に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（中崎）

ヒカゲワラビ

Diplazium chinense (Baker) C.Chr.

メシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州・奄美諸島の沖永良部島／朝鮮済州島・中国・インドシナ

生 育 地 山地の林下のやや陰湿な場所に生える。稻敷市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



稻敷市（内山）

ノコギリシダ

Diplazium wichurae (Mett.) Diels

メシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B 類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（福島県南部・関東地方・能登半島以西）・四国・九州・琉球・小笠原／朝鮮南部・台湾・中国

生 育 地 山地林下の陰湿な地上か岩上に生える。つくば市、石岡市や北茨城市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

エビラシダ

Gymnocarpium oyamense (Baker) Ching

メシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B 類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東地方から近畿地方）・四国／ネパール・中国・台湾・フィリピン・ニューギニア

生 育 地 山地の林下の陰湿な岩壁と岩石地に生える。大子町に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（藤田）

コガネシダ

Woodsia macrochlaena Mett. ex Kuhn

メシダ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B 類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州・四国・九州／朝鮮・中国北部・ソビエト東部

生 育 地 山地林下や林縁の岩上に生える。久慈山地に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない

そ の 他



男体山（内山）

サジラン

Loxogramme duclouxii H.Christ

ウラボシ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 本州（福島県以西）・四国・九州／ヒマラヤ・中国（西・南部）・タイ・台湾・朝鮮（済州島）

生 育 地 山地林中の岩上や樹幹に着生する。常陸太田市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（内山）

クリハラン

Neocheiropteris ensata (Thunb.) Ching

ウラボシ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州・沖縄本島／朝鮮の済州島・台湾の高山・中国からインドシナにかけて

生 育 地 山林中の地上やまことに湿った岩上に生える。吾国山、土浦市、北茨城市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

オシャグジデンダ

Polypodium fauriei H.Christ

ウラボシ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道から九州（中央山地）／朝鮮（済州島）・南千島

生 育 地 深山の樹幹や岩上に着生する。八溝山などに生育する。

選 定 理 由 個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



（県博収蔵標本：加波山産）

サンショウモ

Salvinia natans (L.) All.

サンショウモ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州・四国（瀬戸内側）・九州（西部）／ヨーロッパ・アジア・アフリカ・アメリカ

生 育 地 水田や池沼の水面に生育する。県内各地に見られるが、生育地は減少している。

選 定 理 由 農地の改修、農薬の使用

そ の 他



常陸太田市（内山）

ツガ

Tsuga sieboldii Carrière

マツ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（福島県八溝山以西）・四国・九州（屋久島）／朝鮮の鬱陵島

生 育 地 山地に生える。八溝山や竜神峠などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（内山）

サクラバハンノキ

Alnus trabeculosa Hand.-Mazz.

カバノキ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州（茨城県・新潟県以西）・九州（宮崎県）／中国（南東部）

生 育 地 湿地にまれに生える。県内では、高萩市が唯一の生育地である。

選 定 理 由 生育地点が少ない

そ の 他



日立市（内山）

トキホコリ

Elatostema densiflorum Franch. et Sav. ex Maxim.

イラクサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 北海道西南部・本州中部 [日本固有種]

生 育 地 低地の湿ったところに生える。佐白山、水戸市、常陸太田市などに生育する。

選 定 理 由 森林の伐採、登山者による踏みつけ

そ の 他



常陸大宮市（藤田）

ミヤマツチトリモチ

Balanophora nipponica Makino

ツチトリモチ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州（秋田県・岩手県以南）・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 落葉樹林下に生える。北茨城市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

コギシギシ

Rumex dentatus L. subsp. *nipponicus* (Franch. et Sav.) Rech.f.

タデ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州（関東以西）・四国・九州／朝鮮・中国（本土・台湾）

生 育 地 日当たりのよい原野に生える。鬼怒川や利根川などに生育する。

選 定 理 由 河川の改修

そ の 他



牛久市（丸山）

絶滅

絶滅危惧IA類

絶滅危惧IB類

絶滅危惧II類

準絶滅危惧

情報
①不足
目種情報
②現状不明
種

マルミノヤマゴボウ

Phytolacca japonica Makino

ヤマゴボウ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（関東以西）・四国・九州

生 育 地 山地の林下に生える。男体山などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



男体山（中崎）

ワチガイソウ

Pseudostellaria heterantha (Maxim.) Pax

ナデシコ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（福島県以南）・四国・九州／中国

生 育 地 山地の林下に生える。筑波山、大子町などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（内山）

ヒナワチガイソウ

Pseudostellaria heterantha (Maxim.) Pax var. *linearifolia* (Takeda) Nemoto

ナデシコ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（茨城県・千葉県・東京都・三重県・愛媛県）
[日本固有種]

生 育 地 山地の林下に生える。筑波山に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採。

そ の 他



桜川市（内山）

アズマレイジンソウ

Aconitum pterocaule Koidz.

キンポウゲ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州中部の主として日本海側 [日本固有種]

生 育 地 林中や林縁に生える。八溝山や筑波山に生育する。

選 定 理 由 森林の伐採

そ の 他



大子町（内山）

ミチノクフクジュソウ

Adonis multiflora Nishikawa et Koji Ito

キンポウゲ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州（東北地方から中部地方）・九州

生 育 地 温帯の落葉樹林下に生える。大子町などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、園芸採取

そ の 他



大子町（中崎）

フクジュソウ

Adonis ramosa Franch.

キンポウゲ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮、中国（東北）、シベリア東部

生 育 地 温帯の落葉樹林下に生える。常陸大宮市、高萩市、北茨城市などに生育する。

選 定 理 由 園芸採取

そ の 他



北茨城市（内山）

エンコウソウ

Caltha palustris L. var. *enkoso* H.Hara

キンポウゲ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州・北海道／千島・樺太

生 育 地 浅い水中や湿地に生える。城里町、大子町に生育するが、個体数は減少している。

選定理由 園芸採取

そ の 他



城里町（内山）

スハマソウ

Hepatica nobilis Schreb. var. *japonica* Nakai f. *variegata* (Makino) Nakai

キンポウゲ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州・四国／ヨーロッパ・東アジア

生 育 地 落葉広葉樹林の林下に生える。大子町、常陸太田市などに生育地があるが、生育環境が悪化している。

選定理由 園芸採取、森林の伐採

そ の 他



大子町（内山）

ヒメウズ

Semiaquilegia adoxoides (DC.) Makino

キンポウゲ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州／朝鮮南部・中国

生 育 地 人里に近い山すそや道ばたの草むらや石垣に生える。牛久市や常総市などにまれに生育する。

選定理由 生育地点が少ない

そ の 他



牛久市（内山）

シキンカラマツ

Thalictrum rochebrunianum Franch. et Sav.

キンポウゲ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（長野県・群馬県・福島県）

生 育 地 木陰の湿った草地に生える。北茨城市に生育するが、生育環境悪化により、個体数は減少している。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



北茨城市（内山）

ジュンサイ

Brasenia schreberi J.F.Gmel.

スイレン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州・琉球

生 育 地 底に有機物が堆積した古い池に生える。県内では数か所に生育する。

選 定 理 由 湖岸の埋立、水質の汚濁

そ の 他



常陸太田市（内山）

ヒツジグサ

Nymphaea tetragona Georgi

スイレン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 北海道・四国・九州／ヨーロッパ・シベリア・東アジア・インド北部

生 育 地 古い池や沼に生える。県内数か所に生育する。

選 定 理 由 湖岸の埋立、水質の汚濁

そ の 他



常陸太田市（内山）

絶滅

絶滅危惧IA類

絶滅危惧IB類

絶滅危惧II類

情報不足目種

情報現状不明種

ベニバナヤマシャクヤク

Paeonia obovata Maxim.

ボタン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮・中国（北部）・樺太

生 育 地 落葉広葉樹林下に生える。大子町や八溝山などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、園芸採取、森林の伐採

そ の 他 ケナシベニバナヤマシャクヤクを含む。



大子町（清水）

コモウセンゴケ

Drosera spathulata Labill.

モウセンゴケ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 本州（宮城県以南）・四国・九州・琉球／中国（本土・台湾）・東南アジア・オーストラリア

生 育 地 日当たりのよい酸性の湿地に生える。北茨城市、高萩市などに生育するが個体数は減少している。

選 定 理 由 湿地の開発、農地の改修、遷移の進行

そ の 他



高萩市（森本）

イワハタザオ

Arabis serrata Franch. et Sav. var. *japonica* (H.Boissieu) Ohwi

アブラナ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州中北部

生 育 地 山地に生える。県内の生育地は大子町、男体山、竜神峠などの久慈山地に限られている。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（内山）

オオチツッパベンケイ

Hylotelephium sordidum (Maxim.) H.Ohba var. *oishii* (Ohwi) H.Ohba et M.Amano

ベンケイソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 IB類 (EN)

分 布 本州北部（多雪地帯に多い） [日本固有種]

生 育 地 山地の岩上、まれに樹上または屋根上に生える。主に久慈山地に生育するが個体数は少ない。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（内山）

ヒメレンゲ

Sedum subtile Miq.

ベンケイソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東以西）・四国・九州／中国・ヒマラヤ東部

生 育 地 沢沿いの岩上に生える。県内の生育地は久慈山地に限られている。

選 定 理 由 森林の伐採

そ の 他



大子町（藤田）

アズマツメクサ

Tillaea aquatica L.

ベンケイソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道・本州／北半球の温帯

生 育 地 水田や海浜泥地に生える。常総市などの湿地に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



常総市（小松崎）

イワネコノメソウ

Chrysosplenium echinus Maxim.

ユキノシタ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（関東・東海地方）・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 温帯林の沢に沿う陰湿地に生える。八溝山や北茨城市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

ヤグルマソウ

Rodgersia podophylla A.Gray

ユキノシタ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道西南部・本州／朝鮮

生 育 地 谷沿いの林下に生える。北茨城市と八溝山の2か所に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（内山）

ミヤマザクラ

Cerasus maximowiczii (Rupr.) Kom.

バラ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州の温帯から亜寒帯／朝鮮・中国（東北）・ウスリー・樺太

生 育 地 山地の上部から亜高山に生える。また、蛇紋岩地帯や石灰岩地帯にも見られる。県内では、筑波山が唯一の生育地である。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



筑波山（内山）

アズマイバラ

Rosa onoei Makino var. *oligantha* (Franch. et Sav.) H.Ohba

バラ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（宮城県以南・愛知県豊川以東）[日本固有種]

生 育 地 丘陵地、低山地に生える。県内では、筑波山が唯一の生育地である。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



筑波山（内山）

コジキイチゴ

Rubus sumatranus Miq.

バラ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（関東・中部地方以西）・四国・九州／朝鮮南部・中国大陸・台湾

生 育 地 暖地に生える。つくば市、城里町、御前山などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



御前山（内山）

ナガボノアカワレモコウ

Sanguisorba tenuifolia Fisch. ex Link var. *purpurea* Trautv. et Mey. (102)

バラ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（西部）・四国・九州／朝鮮・中国（東北）

生 育 地 湿地などに生える。神栖市、稻敷市、小貝川などに生育する。

選 定 理 由 河川の改修

そ の 他



稻敷市（内山）

ナンキンナナカマド

Sorbus gracilis (Siebold et Zucc.) K.Koch

バラ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（福島県・新潟県以西）・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 山地に生える。八溝山、竜神峠などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（内山）

イタチササゲ

Lathyrus davidii Hance

マメ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州・九州／朝鮮・中国（北部・東北）・ウスリー

生 育 地 山地の草原、林縁に生える。大子町と水戸市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



（中崎収蔵標本：大子町産）

マルミノウルシ

Euphorbia ebracteolata Hayata

トウダイグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 準絶滅危惧（NT）

分 布 本州（関東地方以北）／中国の中部から朝鮮半島

生 育 地 山地の開けた草地などに生える。大子町に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（中崎）

カラコギカエデ

Acer ginnala Maxim. var. *aidzunense* (Franch.) K.Ogata

カエデ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／東シベリア・中国（東北）・朝鮮 [日本固有種]

生 育 地 低山の湿地の林内に生える。小貝川などに生育する。

選 定 理 由 河川の改修、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



笠間市（内山）

コガンピ

Diplomorpha ganpi (Siebold et Zucc.) Nakai

ジンチョウゲ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（群馬県赤城山および茨城県・福井県東部以西）・四国・九州（奄美諸島）／台湾

生 育 地 日当たりのよい山野に生える。日立市、笠間市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



常陸太田市（内山）

ナガハシスミレ

Viola rostrata Pursh

スミレ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州北部から鳥取県の日本海側 [日本固有種]

生 育 地 山地に生える。鷲足山塊に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



城里町（内山）

ミズキンバイ

Ludwigia peploides (Kunth) Raven subsp. *stipulacea* (Ohwi) Raven

アカバナ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 北海道・四国・九州／中国（台湾・海南島）

生 育 地 沼澤地に生える。行方市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、溜池の埋立

そ の 他



水戸市（内山）

フサモ

Myriophyllum verticillatum L.

アリノトウグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／ヨーロッパ・アフリカ北部・アジア・北アメリカ

生 育 地 池や沼に生える。常陸太田市などに生育する。

選 定 理 由 溜池の埋立、水質の汚濁

そ の 他



常陸太田市（村上）

エキサイゼリ

Apodicarpum ikenoi Makino

セリ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州（関東地方と愛知県） [日本固有種]

生 育 地 湿地に生える。小貝川などに生育する。

選 定 理 由 河川の改修、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



常総市（内山）

ミシマサイコ

Bupleurum scorzonerifolium Willd.

セリ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州・四国・九州／朝鮮

生 育 地 山野に生える。常陸太田市、ひたちなか市などに生育するが個体数は少ない。

選 定 理 由 個体数が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



(県博収蔵標本：真弓山産)

マルバトウキ

Ligusticum scoticum L. subsp. *hultenii* (Fernald) Hulten

セリ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州北部／樺太・千島・カムチャツカ・アラスカ・北アメリカ

生 育 地 海岸に生える。北茨城市、高萩市、日立市、ひたちなか市の海岸に生育する。

選 定 理 由 海岸の開発

そ の 他



ひたちなか市（内山）

サラサドウダン

Enkianthus campanulatus (Miq.) G.Nicholson

ツツジ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 北海道（西南部）・本州（兵庫県以東）・四国（徳島県） [日本固有種]

生 育 地 深山に生える。八溝山に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



八溝山（内山）

絶滅

絶滅危惧IA類

絶滅危惧IB類

絶滅危惧II類

準絶滅危惧

情報不足目種

情報不足現状不明種

ヒカゲツツジ

Rhododendron keiskei Miq.

ツツジ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 山地の崖や岩の上に生える。大子町、常陸大宮市、御前山、城里町、日立市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



城里町（内山）

ノジトラノオ

Lysimachia barystachys Bunge

サクラソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（関東以西）、九州北部／朝鮮、中国（北部／東北）

生 育 地 やや湿り気のある原野に生える。日立市、土浦市、竜ヶ崎市などに生育する。

選 定 理 由 草地の開発、遷移の進行

そ の 他



ひたちなか市（内山）

クリンソウ

Primula japonica A.Gray

サクラソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 北海道、本州、四国 [日本固有種]

生 育 地 山麓の湿地に生える。大子町、常陸太田市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、園芸採取

そ の 他



大子町（中崎）

サクラソウ

Primula sieboldii E.Morren

サクラソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道南部、本州、九州／朝鮮、中国(東北)、シベリア東部

生 育 地 山麓や川岸の湿気の多い野原に生える。北茨城市、常陸太田市、大子町などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、園芸採取

そ の 他



大子町（内山）

ヒメナエ

Mitrasacme indica Wight

マチン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州・四国・九州・琉球／朝鮮、中国、インド、マレーシア、オーストラリア

生 育 地 日当たりのよい暖地の低湿地に生える。桜川市、水戸市、笠間市、神栖市などに生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



筑西市（内山）

コケリンドウ

Gentiana squarrosa Ledeb.

リンドウ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州・四国・九州／朝鮮、中国(本土・台湾)、インド北部、シベリア

生 育 地 日当たりのよい原野に生える。常陸太田市、常陸大宮市、筑波山などに生育する。

選 定 理 由 草地の開発、遷移の進行

そ の 他



常陸太田市（内山）

チョウジソウ

Amsonia elliptica (Thunb.) Roem. et Schult.

キヨウチクトウ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州、九州／朝鮮、中国

生 育 地 川岸や原野のやや湿った草地に生える。常総市、取手市、境町などに生育する。

選 定 理 由 河川の改修

そ の 他



常総市（内山）

フナバラソウ

Vincetoxicum atratum (Bunge) C.Morren et Decne.

ガガイモ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮、中国

生 育 地 山野の草地に生える。日立市、常陸太田市などに生育する。

選 定 理 由 草地の開発、遷移の進行

そ の 他



城里町（内山）

イヨカズラ

Vincetoxicum japonicum C.Morren et Decne.

ガガイモ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州、小笠原／朝鮮、中国

生 育 地 海岸に近い草地や疎林に生える。県北の海岸に生育する。

選 定 理 由 海岸の開発

そ の 他



高萩市（内山）

キバナカワラマツバ

Galium verum L. subsp. *asiaticum* (Nakai) T.Yamaz.

アカネ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮

生 育 地 日当たりのよい乾いた草地や土手に生える。
主に久慈山地に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない

そ の 他



大子町（内山）

サワルリソウ

Ancistrocarya japonica Maxim.

ムラサキ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（関東以西）・四国・九州の太平洋側 [日本固有種]

生 育 地 山地の木陰に生える。男体山、大子町などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



鷺子山（内山）

ルリソウ

Omphalodes krameri Franch. et Sav.

ムラサキ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州中部以北 [日本固有種]

生 育 地 山の林内に生える。佐白山、筑波山などに生育する。

選 定 理 由 森林の伐採

そ の 他



(県博収蔵標本：笠間市産)

クマツヅラ

Verbena officinalis L.

クマツヅラ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州・四国・九州・琉球／アジア・ヨーロッパ・アフリカ北部

生 育 地 山野の道ばた生える。日立市、ひたちなか市、下妻市、常総市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない

そ の 他



ひたちなか市（内山）

カイジンドウ

Ajuga ciliata Bunge var. *villosior* A.Gray ex Nakai

シソ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 北海道・本州・九州 [日本固有種]

生 育 地 やや乾いた明るい落葉樹林に生える。常陸大宮市、日立市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



(県博収蔵標本：御前山産)

ツルカコソウ

Ajuga shikotanensis Miyabe et Tatew.

シソ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 南千島（色丹島）・本州 [日本固有種]

生 育 地 日当たりのよい丘陵地の草原に生える。県西地区の数か所に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他 全体に毛の多い型である。



牛久市（内山）

ミズネコノオ

Pogostemon stellatus (Lour.) Kuntze

シソ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州・四国・九州・奄美（徳之島）／朝鮮・中国～東南アジア

生 育 地 水田や低湿地に生える。県南の湿地に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、農地の改修

そ の 他



水戸市（内山）

ミズトラノオ

Pogostemon yatabeanus (Makino) Press

シソ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州・四国・九州／朝鮮

生 育 地 低湿地に生える。県南の湿地に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、農地の改修

そ の 他



取手市（内山）

エゾタツナミソウ

Scutellaria pekinensis Maxim. var. *ussuriensis* (Regel) Hand.-Mazz.

シソ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州（近畿地方以北）／朝鮮・中国（東北）・シベリア東部

生 育 地 山の木陰に生える。八溝山や北茨城市に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

ハシリドコロ

Scopolia japonica Maxim.

ナス科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州・四国・九州／朝鮮

生 育 地 山地の谷沿いの湿り気のある林中に生える。
筑波山や北茨城市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



筑波山（内山）

ゴマクサ

Centranthera cochinchinensis (Lour.) Merr. subsp. *lutea* (H.Hara) T.Yamaz.

ゴマノハグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（関東以西）・四国・九州・琉球／朝鮮南部・
中国・インドシナ

生 育 地 湿地に生える。桜川市、笠間市、神栖市など
に生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



小美玉市（内山）

キタミソウ

Limosella aquatica L.

ゴマノハグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 北海道・本州（埼玉県越谷）・九州（熊本市
江津湖）

生 育 地 水辺の泥中に生える。小貝川の一部の堰付近
に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、河川の改修

そ の 他 2001年に発見され、以後毎年生育が確認され
ている。



小貝川（内山）

イヌタヌキモ

Utricularia australis R.Br.

タヌキモ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

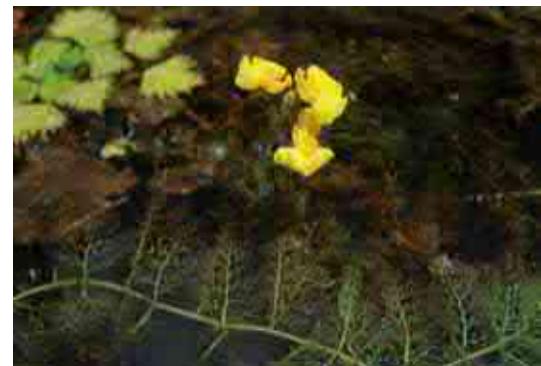
環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州・四国・九州

生 育 地 低地の池、特に溜池に生える。県内各地の水田に生育するが、個体数は激減している。

選 定 理 由 湖岸・溜池の埋立、水質の汚濁

そ の 他



土浦市（内山）

ミミカキグサ

Utricularia bifida L.

タヌキモ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 本州・四国・九州・琉球／中国・インドからマレーシア・オーストラリア

生 育 地 湿地生であるが、泥、ミズゴケ、砂などの上に生える。笠間市、水戸市、神栖市、行方市などに生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



小美玉市（内山）

ハヤザキヒヨウタンボク

Lonicera praeflorens Batalin var. *japonica* H.Hara

スイカズラ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（宮城県・群馬県・埼玉県・長野県・山梨県）—基本種は朝鮮・中国北部・ウスリー [日本固有種]

生 育 地 標高800-2200mの山地に見られ、まれに石灰岩地にも生える。主に久慈山地に生育する。

選 定 理 由 個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（内山）

絶滅

絶滅危惧IA類

絶滅危惧IB類

絶滅危惧II類

準絶滅危惧

情報
①不足
目種情報
②現状不明
種

キバナウツギ

Weigela maximowiczii (S.Moore) Rehder

スイカズラ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（北中部）・秋田県太平山が北限・西限
は長野県南部 [日本固有種]

生 育 地 深山に生える。北茨城市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

イワツクバネウツギ

Zabelia integrifolia (Koidz.) Makino ex Ikuse et S.Kuros.

スイカズラ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（中西部）・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 標高300-1500mの山地に生え、主に石灰岩地、
まれに蛇紋岩地や落葉林下に生える。常陸太田市と日立市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



真弓山（内山）

キンレイカ

Patrinia triloba (Miq.) Miq. var. *palmata* (Maxim.) H.Hara

オミナエシ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（関東以西の太平洋側）・九州 [日本固有種]

生 育 地 山地の岩場に生える。筑波山、男体山に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（内山）

ナベナ

Dipsacus japonicus Miq.

マツムシソウ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州・四国・九州／朝鮮・中国

生 育 地 日当たりのよい山地にえる。常陸太田市、八溝山、日立市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



大子町（内山）

ヒナギキョウ

Wahlenbergia marginata (Thunb.) A.DC.

キキョウ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（関東地方以西）・四国・九州・琉球・小笠原／朝鮮・中国・東南アジア・オーストラリア

生 育 地 原野、低山の日当たりのよいところに生える。行方市、神栖市、稻敷市に生育する。

選 定 理 由 草地の開発、遷移の進行

そ の 他



小美玉市（安）

ヤハズハハコ

Anaphalis sinica Hance

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東以西）・四国・九州／朝鮮・中国

生 育 地 山地に生える。久慈山地に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない

そ の 他



常陸太田市（内山）

モリアザミ

Cirsium dipsacolepis (Maxim.) Matsum.

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 乾いた草原に生える。日立市、水戸市に生育する。

選 定 理 由 草地の開発、遷移の進行

そ の 他



高鈴山（大津）

ヨツバヒヨドリ

Eupatorium glehnii F.Schmidt ex Trautv.

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州（近畿地方以東）、四国／樟太

生 育 地 山地の湿地に生える。八溝山、北茨城市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



（県博収蔵標本：花瓶山産）

ヤナギタンポポ

Hieracium umbellatum L.

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 南千島・北海道・本州・四国／北半球

生 育 地 山間の湿地に生える。東海村とひたちなか市の海岸近くの林下に生育する。

選 定 理 由 海岸の開発

そ の 他



東海村（村上）

ホソバオグルマ

Inula linariifolia Turcz.

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州（関東地方）・九州／朝鮮・中国・シベリア

生 育 地 暖帯～温帯の湿地に生える。県西の湿地に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



古河市（内山）

カワラニガナ

Ixeris tamagawaensis (Makino) Kitam.

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州（中部地方以北）

生 育 地 川原の礫地に生える。大子町、常陸大宮市などに生育する。

選 定 理 由 河川の改修

そ の 他



常陸大宮市（内山）

キオン

Senecio nemorensis L.

キク科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 南千島・北海道・本州・四国九州／朝鮮・中国・樺太・シベリア・ヨーロッパ

生 育 地 山地に生える。八溝山、北茨城市、加波山などに生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、森林の伐採、遷移の進行

そ の 他



高萩市（内山）

センニンモ

Potamogeton maackianus A.Benn.

ヒルムシロ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／東南アジア北部

生 育 地 池や沼に生える。県南、県西地域の池や沼に生育する。

選 定 理 由 河川の改修、湖岸の埋立、水質の汚濁

そ の 他



(県博収蔵標本：筑西市産)

リュウノヒゲモ

Potamogeton pectinatus L.

ヒルムシロ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道・本州・四国・九州／世界の温帯から熱帯

生 育 地 淡水または川口の近くなどの淡水と海水が混ざり合うところに生える。霞ヶ浦、涸沼などに生育する。

選 定 理 由 河川の改修、湖岸の埋立、水質の汚濁

そ の 他



(県博収蔵標本：神栖市産)

エビアマモ

Phyllospadix japonicus Makino

アマモ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州中部以西と九州北部

生 育 地 海岸の岩上に生える。県内各地の海岸に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、海岸の開発

そ の 他



ひたちなか市（中庭）

サガミトリゲモ

Najas chinensis N.Z.Wang

イバラモ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州・四国・九州・琉球／東南アジア

生 育 地 池や水田の中に生える。県内各地の湿地、水田に生育する。

選 定 理 由 湖岸・溜池の埋立、水質の汚濁

そ の 他



坂東市（内山）

イトトリゲモ

Najas gracillima (A.Braun ex Engelm.) Magnus

イバラモ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

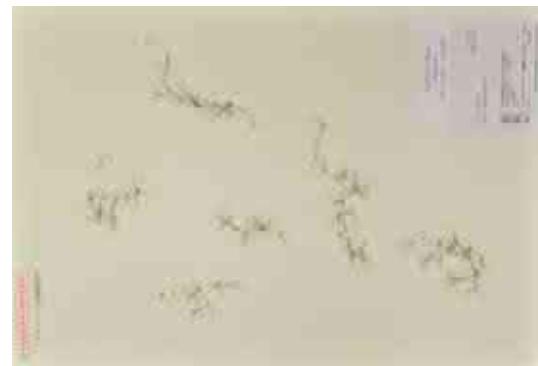
環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州・四国・九州

生 育 地 池や水田の中に生える。県内各地の湿地、水田に生育する。

選 定 理 由 湖岸・溜池の埋立、水質の汚濁

そ の 他



(県博収蔵標本：大子町産)

ホツスモ

Najas graminea Delile

イバラモ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州・四国・九州・琉球／世界の温帯から熱帯

生 育 地 池や水田の中に生える。県内各地の湿地、水田に生育する。

選 定 理 由 湖岸・溜池の埋立、水質の汚濁

そ の 他



東海村（村上）

イバラモ

Najas marina L.

イバラモ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

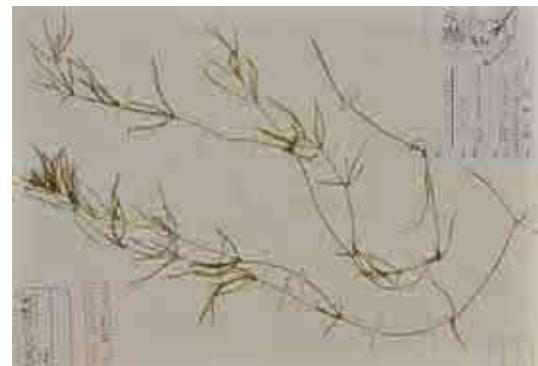
環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州・奄美／世界の温帶から熱帯

生 育 地 池や流水の中に生える。涸沼、霞ヶ浦などに生育する。

選 定 理 由 湖岸・溜池の埋立、水質の汚濁

そ の 他



(県博収蔵標本：涸沼産)

トリゲモ

Najas minor All.

イバラモ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州・四国・九州・琉球／世界の温帶から熱帯

生 育 地 ため池や湖沼などに生える。涸沼に生育する。

選 定 理 由 湖岸・溜池の埋立、水質の汚濁

そ の 他



(県博収蔵標本：霞ヶ浦産)

オオトリゲモ

Najas oguraensis Miki

イバラモ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

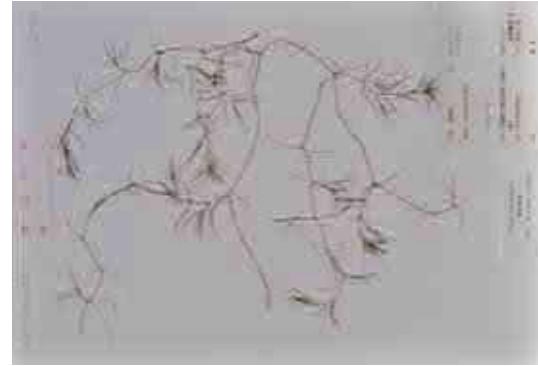
環境省2012

分 布 本州（中部以西）・四国・九州

生 育 地 湖沼やため池、山間の水田などに生える。神栖市、結城市、下妻市などに生育する。

選 定 理 由 湖岸・溜池の埋立、水質の汚濁、農地の改修

そ の 他



(県博収蔵標本：土浦市産)

キバナノアマナ

Gagea lutea (L.) Ker Gawl.

ユリ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州中部以北・本州西部・四国／千島・樺太・朝鮮・中国・シベリア東部・ヨーロッパ

生 育 地 山野に生える。高萩市、大子町、常陸大宮市、御前山、城里町などに生育する。

選 定 理 由 森林の伐採、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



大子町（内山）

ミヤマスカシリュ

Lilium maculatum Thunb. var. *bukosanense* (Honda) H.Hara

ユリ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 I B類 (EN)

分 布 本州（埼玉県・茨城県）[日本固有種]

生 育 地 山地の岩壁に生える。久慈山地に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他 岩手県気仙郡住田町および宮城県白石市にも分布していることが確認された（84）。



大子町（内山）

ホソバノアマナ

Lloydia triflora (Ledeb.) Baker

ユリ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮・中国・千島・樺太・カムチャツカ・シベリア・北アメリカ

生 育 地 山地の草原に生える。つくば市・北茨城市、男体山などに生育する。

選 定 理 由 森林の伐採、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



高萩市（内山）

絶滅

絶滅危惧IA類

絶滅危惧IB類

絶滅危惧II類

準絶滅危惧

情報不足
①注目種情報不足
②現状不明種

ホトトギス

Tricyrtis hirta (Thunb.) Hook.

ユリ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道西南部・本州（関東地方以西・福井県以南）・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 山地の半日陰地に生える。潮来市、鹿嶋市などに生育する。

選 定 理 由 森林の伐採、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



潮来市（内山）

タマガワホトトギス

Tricyrtis latifolia Maxim.

ユリ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州 [日本固有種]

生 育 地 山地の沢筋や岩場の湿り気のあるところなどに生える。大子町、加波山、筑波山に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸太田市（内山）

ヒメドコロ

Dioscorea tenuipes Franch. et Sav.

ヤマノイモ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州（関東以西）・四国・九州・琉球

生 育 地 山野の林縁などに生える。筑波山に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない

そ の 他



(県博収蔵標本：筑波山産)

ヒメシャガ

Iris gracilipes A.Gray

アヤメ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道(西南部)・本州・四国・九州(北部) [日本固有種]

生 育 地 山地のやや乾いた林下に生える。鶴足山、雨卷山に生育する。

選定理由 生育地点が少ない、園芸採取

そ の 他



(県博収蔵標本：鶴足山産)

クロイヌノヒゲ

Eriocaulon atrum Nakai

ホシクサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮

生 育 地 湿地の周囲に茎の高い草本がないところなどに生える。高萩市、日立市に生育する。

選定理由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



(県博収蔵標本：鶴足山産)

ホシクサ

Eriocaulon cinereum R.Br.

ホシクサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州・四国・九州・琉球／朝鮮・中国(本土・台湾)、フィリピン・インド・アフリカ・オーストラリア

生 育 地 湿地や谷津田などに生える。県内各地に点々と生育する。

選定理由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



境町(内山)

イトイヌノヒゲ

Eriocaulon decemflorum Maxim.

ホシクサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮

生 育 地 山野の湿地や湿り気のある斜面に生える。県内各地に点々と生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



常陸大宮市（内山）

ヤマトホシクサ

Eriocaulon japonicum Koern.

ホシクサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

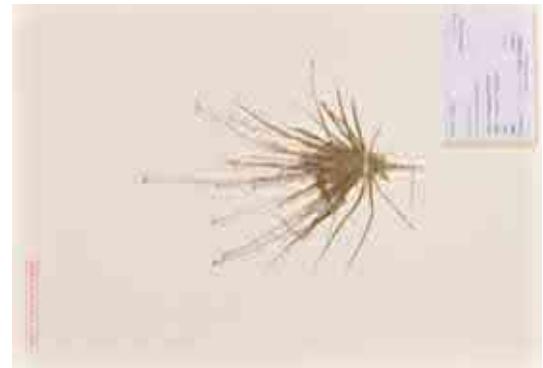
環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（千葉県・滋賀県） [日本固有種]

生 育 地 湿地に生える。笠間市に生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



(県博収蔵標本：笠間市産)

クロホシクサ

Eriocaulon parvum Koern.

ホシクサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州・四国・九州／朝鮮

生 育 地 溝池脇などにある湿地や休耕田などに生える。北茨城市、高萩市、日立市、桜川市、水戸市、筑西市などに生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



高萩市（内山）

シロイヌノヒゲ

Eriocaulon sikokianum Maxim.

ホシクサ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州・四国・九州／朝鮮

生 育 地 平地の湿地や山地の沢筋などに生える。県内各地に点々と生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



小美玉市（内山）

アイアシ

Phacelurus latifolius (Steud.) Ohwi

イネ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮・中国

生 育 地 主に河口や海岸に生える。水戸市、茨城町などに生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



大洗町（内山）

ウキシバ

Pseudoraphis ukishiba Ohwi

イネ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 本州・四国・九州／朝鮮・中国

生 育 地 湿地や溜池などに生える。土浦市、水戸市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湖岸の埋立

そ の 他



五霞町（丸山）

フクロダガヤ

Tripogon longearistatus Honda

イネ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 I B類 (EN)

分 布 本州（関東北部） [日本固有種]

生 育 地 山地の岩上に生える。久慈山地に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない

そ の 他 和名は袋田で発見されたことによる。



常陸太田市（内山）

ヒトツバテンナンショウ

Arisaema monophyllum Nakai

サトイモ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（中北部） [日本固有種]

生 育 地 山地のやや湿り気のある暗い林下や、林縁などの斜面に生える。北茨城市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

ムサシアブミ

Arisaema ringens (Thunb.) Schott

サトイモ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州（関東以西）・四国・九州・琉球／朝鮮南部・中国（本土・台湾）

生 育 地 海岸近くのやや湿った林下に生える。東海村に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



東海村（内山）

ヒメミクリ

Sparganium subglobosum Morong

ミクリ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 北海道・本州・四国・九州・琉球／朝鮮・中国（北部）

生 育 地 溪流などに生える。北茨城市、高萩市、笠間市に生育する。

選 定 理 由 溪流の埋立

そ の 他



笠間市（内山）

ヌマアゼスゲ

Carex cinerascens Kuk.

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州（関東・東北地方）／朝鮮

生 育 地 平地の湖沼や川岸の湿地に生える。稻敷市のヨシ原や古河市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



稻敷市（内山）

オキナワジュズスゲ

Carex ischnostachya Steud. var. *fastigiata* T.Koyama

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

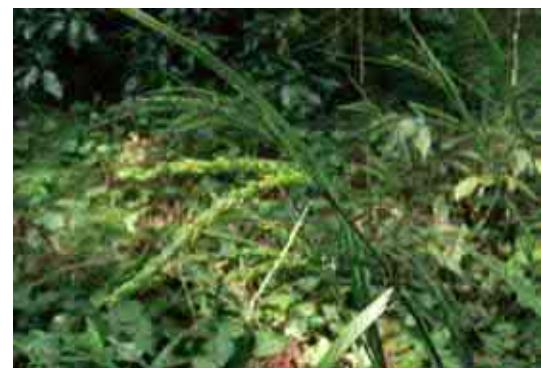
環境省2012

分 布 本州（関東南部以西・伊豆諸島）・四国・九州・琉球 [日本固有種]

生 育 地 暖地の林下や林縁などに生える。鹿嶋市や神栖市のスダジイの混じる林下に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



神栖市（安）

絶滅

絶滅危惧ⅠA類

絶滅危惧ⅠB類

絶滅危惧Ⅱ類

準絶滅危惧

情報
①不足
目種情報
②現状不明
種

アサマスゲ

Carex lithophila Turcz.

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧ⅠB類

茨城県1997 希少種

環境省2012 準絶滅危惧(NT)

分 布 本州(長野県・関東地方)／朝鮮～シベリア東部

生 育 地 平地の湖沼や川岸の湿地に生える。行方市、
神栖市、稻敷市のヨシ原などに生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



稻敷市(内山)

ヌマクロボスゲ

Carex meyeriana Kunth

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧ⅠB類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧Ⅱ類(VU)

分 布 本州(中北部)・九州／朝鮮・中国(東北)・
シベリア東部

生 育 地 平地の湖沼や川岸の湿地に生える。水戸市、
稻敷市のヨシ原に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



稻敷市(内山)

キシュウナキリスゲ

Carex nachiana Ohwi

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧ⅠB類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧Ⅱ類(VU)

分 布 本州・四国・九州／中国

生 育 地 暖地の林下や林縁に生える。行方市、鹿嶋市
などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



鹿嶋市(内山)

エゾツリスゲ

Carex papulosa Boott

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 稀少種

環境省2012

分 布 北海道・本州(中部以北)・九州／朝鮮・ウスリー

生 育 地 湿地に生える。高萩市などに生育する。

選定理由 湿地の開発、遷移の進行

その他



高萩市(内山)

オオクグ

Carex rugulosa Kuk.

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 北海道・本州・九州／朝鮮・中国(東北)・ウスリー

生 育 地 海水の出入りする汽水域の湖岸などに生える。日立市、茨城町、神栖市などに生育する。

選定理由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

その他



(県博収蔵標本：鉢田市産)

ヒトモトススキ

Cladium jamaicense Crantz subsp. *chinense* (Nees) T.Koyama

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 IB類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 本州(関東地方・能登半島以西)・四国・九州・琉球／朝鮮南部・中国・マレーシア・オーストラリア

生 育 地 主に海岸近くの湿り気のある草地に生える。ひたちなか市に生育する。

選定理由 生育地点が少ない、海岸の開発

その他



ひたちなか市(内山)

マシカクイ

Eleocharis tetraquetra Nees

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B 類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 本州・四国・九州・琉球／中国（本土・台湾）・インド・インドネシア・オーストラリア

生 育 地 湿地や溜池などの水辺に生える。稲敷市のヨシ原に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



(県博収蔵標本：稲敷市産)

サギスゲ

Eriophorum gracile K.Koch

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B 類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州／北半球

生 育 地 平地から山地の湿地に生える。北茨城市、高萩市、常陸太田市などに生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



高萩市（内山）

トネテンツキ

Fimbristylis stauntonii Debeaux et Franch. var. *tonensis* (Makino) Ohwi ex T.Koyama

カヤツリグサ科

茨城県2012 絶滅危惧 I B 類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II 類 (VU)

分 布 本州（関西以東） [日本固有種]

生 育 地 湿地や畑などに生える。稲敷市、古河市、坂東市の利根川周辺に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、河川の改修、湿地の開発

そ の 他



(県博収蔵標本：菅生沼産)

シラン

Bletilla striata (Thunb.) Rchb.f.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州中南部・四国・九州・琉球／中国（本土・台湾）

生 育 地 山野の日当たりがよく、湿り気のある斜面などに生える。高萩市、東海村、鹿嶋市などに生育する。

選定理由 園芸採取、湿地の開発、遷移の進行

その他の 野生状態のものも本来の自生個体かどうか判別は難しい。



高萩市（内山）

キンセイラン

Calanthe nipponica Makino

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 北海道・本州・四国・九州（宮崎県）

生 育 地 山地の安定した林下や林縁に生える。常陸太田市、大子町、城里町などに生育する。

選定理由 森林の伐採

その他の



常陸太田市（内山）

ベニシュスラン

Goodyera biflora (Lindl.) Hook.f.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012

分 布 本州（関東以西）・四国・九州／朝鮮

生 育 地 山野の林下や湿り気の多い谷筋などの斜面に生える。北茨城市、常陸大宮市などに生育する。

選定理由 生育地点が少ない、森林の伐採

その他の



(県博収蔵標本：北茨城市産)

アケボノシュスラン

Goodyera foliosa (Lindl.) Benth. ex C.B.Clarke var. *maximowicziana* (Makino) F.Maek.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 南千島・北海道・本州・四国・九州／朝鮮

生 育 地 山野の安定した林のやや湿り気のある林下に生える。東海村、常陸大宮市、笠間市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



常陸大宮市（内山）

ミズトンボ

Habenaria sagittifera Rchb.f.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 北海道（西南部）・本州・四国・九州／中国（中部）

生 育 地 山野の日当たりのよい湿地に生える。北茨城市、高萩市、常陸太田市、笠間市などに生育する。

選 定 理 由 湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



笠間市（内山）

ホクリクムヨウラン

Lecanorchis japonica Blume var. *hokurikuensis* (Masam.) T.Hashim.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

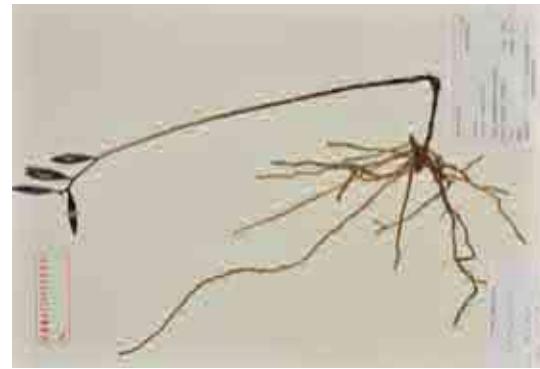
環境省2012

分 布 本州（北陸地方・東北地方南部）／中国（中部）
[日本固有種]

生 育 地 常緑広葉樹林下に生える。常陸大宮市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



(県博収蔵標本：鹿嶋市産)

ウスギムヨウラン

Lecanorchis kiusiana Tuyama

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997

環境省2012 準絶滅危惧 (NT)

分 布 本州・四国・九州／朝鮮 [日本固有種]

生 育 地 常緑広葉樹林下に生える。笠間市に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



笠間市（内山）

クロムヨウラン

Lecanorchis nigricans Honda

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

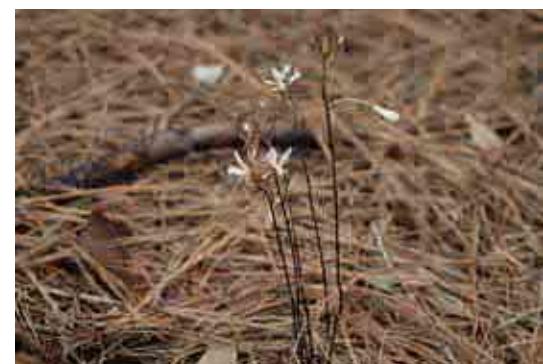
環境省2012

分 布 本州（伊豆七島・東海地方・紀伊半島）・四国・九州

生 育 地 常緑広葉樹林やマツ林などの林下に生える。日立市や石岡市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



石岡市（内山）

ギボウシラン

Liparis auriculata Blume ex Miq.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 I B類 (EN)

分 布 北海道・本州・四国・九州・屋久島／朝鮮（济州島）

生 育 地 常緑広葉樹林下に生えるとされるが、北茨城市、常陸太田市では落葉広葉樹林の湿った沢筋に生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

絶滅

絶滅危惧IA類

絶滅危惧IB類

絶滅危惧II類

情報不足目種

情報不足状不明種

コケイラン

Oreorchis patens (Lindl.) Lindl.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／カムチャッカ・樺太・朝鮮・ウスリー・中国（本土・東北）

生 育 地 山地のやや湿った林下に生える。八溝山、北茨城市、御前山などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

マイサギソウ

Platanthera mandarinorum Rchb.f. subsp. *mandarinorum* var. *neglecta* (Schltr.) F.Maek. ex K.Inoue

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 希少種

環境省2012

分 布 北海道（南部）・本州（中北部）

生 育 地 山野の明るい草地などに生える。筑波山、男体山に生育する。

選 定 理 由 個体数が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



筑波山（内山）

トキソウ

Pogonia japonica Rchb.f.

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 準絶滅危惧（NT）

分 布 北海道・本州・四国・九州／千島・朝鮮・中國

生 育 地 山野の日当たりのよい湿地に生える。県内各地に点々と生育する。

選 定 理 由 園芸採取、湿地の開発、遷移の進行

そ の 他



北茨城市（内山）

ヤマトキソウ

Pogonia minor (Makino) Makino

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012

分 布 北海道・本州・四国・九州／朝鮮・台湾・中国

生 育 地 山野の丘陵で日当たりのよい草地などに生える。高萩市、常陸太田市、水戸市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点が少ない、草地の開発、遷移の進行

そ の 他



常陸太田市（内山）

マツラン

Saccolabium matsuran Makino

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 危急種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（宮城県以南の太平洋側）・四国・九州

生 育 地 常緑広葉樹林内の樹幹に着生する。笠間市、東海村、鹿嶋市、筑波山などに生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



（県博収蔵標本：鹿嶋市産）

モミラン

Saccolabium toramanum Makino

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012 絶滅危惧 II類 (VU)

分 布 本州（福島県以南）・四国

生 育 地 針葉樹と広葉樹の混交林などの樹幹に着生する。竜神峠に生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



（中崎所蔵標本：竜神峠産）

クモラン

Taeniophyllum glandulosum Blume

ラン科

茨城県2012 絶滅危惧 I B類

茨城県1997 絶滅危惧種

環境省2012

分 布 本州（福島県以南）・四国・九州・琉球／朝鮮・中国（本土・台湾）・ヒマラヤ・マレーシア

生 育 地 日当たりのよい樹幹に着生する。北茨城市、城里町、笠間市、鹿嶋市などに生育する。

選 定 理 由 生育地点や個体数が少ない、森林の伐採

そ の 他



北茨城市（内山）

絶
滅

絶滅危惧
I A類

絶滅危惧
I B類

絶滅危惧
II類

準絶滅危惧

情報不足
①注目種

情報不足
②現状不明種